

フィリピン国立航海技術訓練所
研修センタープロジェクト
巡回指導調査団報告書

平成2年12月

国際協力事業団

RY

社協ニ
JR
91-013

国際協力事業団

23114

657

JICA LIBRARY



1093813(2)

23118

序 文

世界の海運界においては、船舶の安全運航、安全規準に対する知識及び技能の習得の必要性が高まってきているが、多数の自国民を船員労働力として外国船に供給しているフィリピン政府は、1978年5月1日発令の大統領令第1369号により、船員の再教育機関として、国立航海技術訓練所（National Maritime Polytechnic）を設立し、特別技能教育を実施してきた。しかしながら、STCW条約等に規定された知識及び技能を習得せしめるための教育を行うには、施設、教材及び教育スタッフが十分に整備されていないことから、本国政府は、本訓練所の拡充計画を策定し、その実施について、我が国に対し無償資金協力及び技術協力を要請してきた。

これを受けて、我が国は1985年6月13日から4年間にわたり国立航海技術訓練所研修センターに対するプロジェクト方式技術協力を実施してきた。

1989年4月、過去4年間にわたる技術協力の進捗状況を確認し、プロジェクトの完成度等について評価を行うとともに、協力終了か、または継続か、の最終的な決定を行うことを目的としてエバリュエーション調査団が派遣された。

この結果、カウンターパートに対する技術移転は概ね終了しているものと評価されたが、更に技術水準を高めるための技術指導、指導者用マニュアルの作成及び新規採用教官に対する技術指導のため、1989年12月21日までの6カ月間にわたって協力期間が延長された。

その後、STCW条約の発効に伴い新規科目を開設する必要があること、また比側のプロジェクト運営能力を自力可能なまでに高め、プロジェクトを円滑に引き渡すために、更に2年間協力期間が延長（1991年12月21日まで）され、今日に至っている。

今般、延長期間の半ばにあたり、プロジェクトの実施状況等を調査する目的で、1990年9月16日から9月23日までの8日間、運輸省海上技術安全局船員部教育課長・日下治夫氏を団長とする巡回指導調査団を派遣した。

本報告書は、同調査団の現地における調査・協議結果をとりまとめたものである。

今回の調査の任にあたられた団員各位並びに本調査にご協力いただいた外務省、運輸省及び在フィリピン日本大使館、その他関係機関の方々に対し深甚の謝意を表する次第である。

平成2年12月

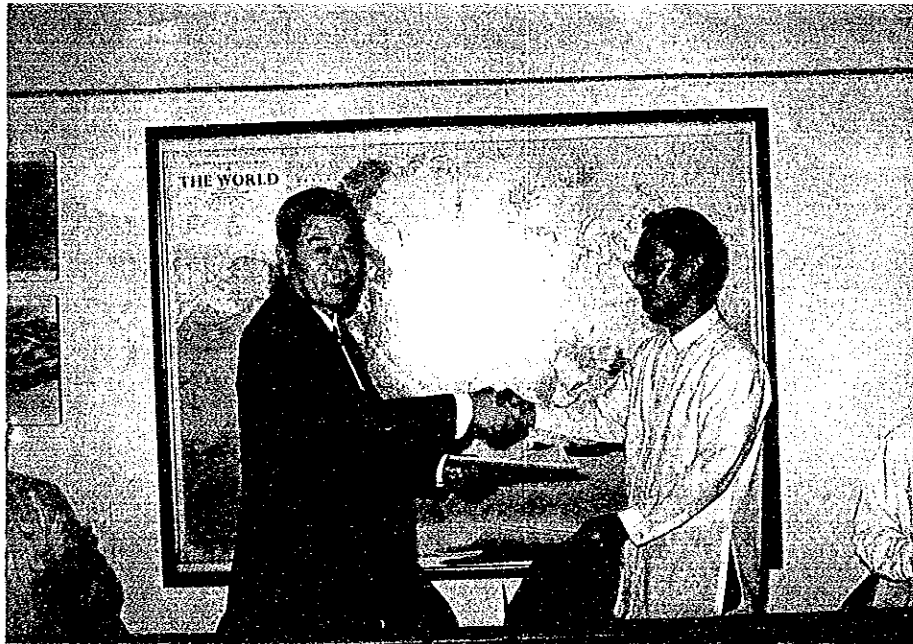
国際協力事業団

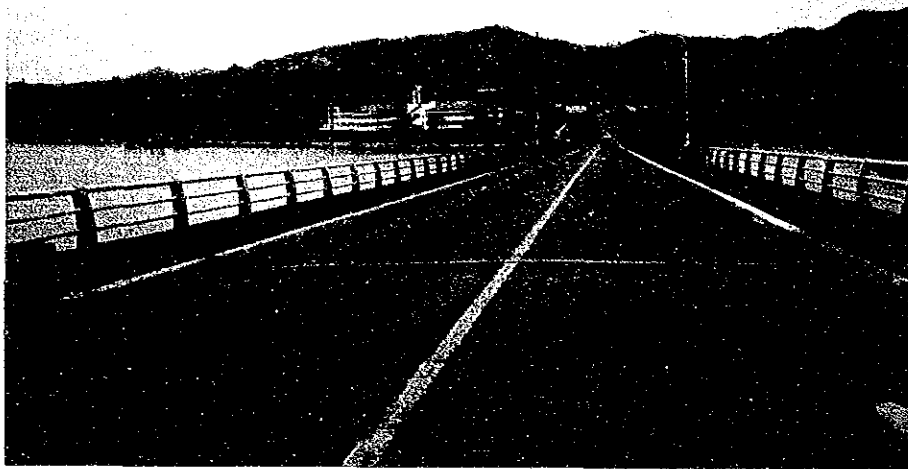
社会開発協力部

部長 小泉純作

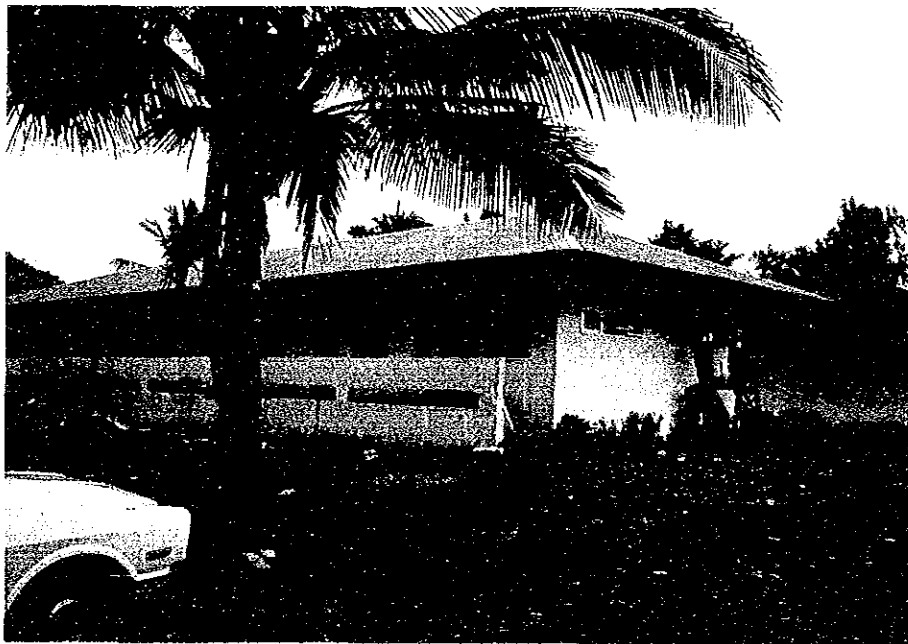


▲ ミニッツ仮署名 (日下団長とピメンテル校長)





▲ 日比友好道路からみたNMP 遠景



▲ NMP 講内の建設中施設

目 次

序	文	
写	真	
1.	概 要	1
1-1	調査団派遣の経緯及び調査内容	1
1-2	調査団の構成	1
1-3	日程、面談者、協議事項	2
2.	プロジェクトの進捗状況	3
2-1	訓練コースの計画と開設状況及び受講実績	3
2-2	訓練機材の整備状況及び使用状況	3
2-3	カウンターパート（教官）の配置及び募集状況	4
3.	NMPの運営体制	5
3-1	予算執行状況	5
3-2	施設整備状況	5
4.	今後のプロジェクト実施計画	6
4-1	コース開設計画及び受講見通し	6
4-2	専門家派遣計画及び研修員受入れ計画	6
5.	NMP側との協議	7
5-1	主な協議内容	7
5-2	ミニッツ署名	8
	別添資料	9
	附属資料	27

1. 概 要

1-1 調査団派遣の経緯及び調査内容

本件技術協力プロジェクトは1985年6月13日R/D (Record of Discussions) の署名により4年間の協力が開始された。

1989年4月、過去4年間にわたった技術協力の進捗状況を確認し、プロジェクトの完成度等について評価を行うために評価調査団が派遣された。

その結果、技術移転は概ね終了しているものと評価されたが、更に技術水準を高める必要があることから、1989年12月21日までの6カ月間、協力期間が延長された。

その後STCW条約の発効に伴い新規科目を開設する必要があること、また、比側のプロジェクト運営能力を自力運営可能なまでに高め、プロジェクトを円滑に引き渡すために、更に2年間協力期間が延長（平成3年12月21日まで）され、今日に至っている。

今般、延長期間の半ばにあたり、1) プロジェクトの実施状況、2) 新規開設モジュールの現状等を調査し、3) 終了に向けての今後のスケジュール及び4) 運営全般についての指導を目的として、本件調査団を派遣することとなった。

1-2 調査団の構成

- 1) 日 下 治 夫 (総括/航海科) 運輸省海上技術安全局船員部教育課長
- 2) 富 倉 邦 彦 (機 関 科) 運輸省海上技術安全局船員部海技試験官
- 3) 宮 永 正二郎 (訓 練 計 画) 運輸省国際運輸・観光局国際協力課国際協力官
- 4) 松 井 淳 (運 営 計 画) 運輸省国際運輸・観光局国際協力課協力第一係長
- 5) 浅 津 関 雄 (協 力 企 画) 国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第二課

1-3 日程、面談者、協議事項

日順	月日(曜)	行程	調査内容	主要面談者	主な協議事項
1	9/16(日)	成田 → マニラ	午前 移動 (PR 431)	成瀬調整員	調査団日程につき協議
2	17(月)	マニラ市	午前 JICAフィリピン事務所、大使館表敬 午後 NMP表敬 MARINA表敬 DOLE表敬	宮本所長、竹内次長 松本所員 阿部公使・総領事 小山一等書記官 ピメンテル校長 パロモ副校長 ツアソン局長 ヘチャノバ次官	調査内容、対処方針等の説明 マニラ市一般概況、事務所対応状況等説明受く 表敬訪問 調査の目的、対処方針につき説明 調査内容説明、ミニッツ署名者につき協議 NMPへの協力依頼 調査の目的等説明
3	18(火)	マニラ市 マニラ→タクロバン	午前 調査団事前打合せ 午後 移動 (PR 193) 全専門家との打合せ	安本リーダー及び 成瀬調整員 安本リーダー 成瀬調整員 菊地専門家 阪本 “ 古市 “	調査内容、項目、対処方針等につき説明
4	19(水)	タクロバン	午前 サイト訓練施設調査、専門家との打合せ 午後 NMP側との協議	NMP幹部及び 専門家 ピメンテル校長 パロモ副校長ほか	諸施設の見学・調査 NMP運営状況・訓練実施状況 供与訓練機材の現状 今後のプロジェクト計画
5	20(木)	タクロバン タクロバン→マニラ	午前 カウンターパートとの協議 午後 タクロバン市内事情視察 移動 (PR 292)	ピメンテル校長、 カウンターパート 及びNMP幹部	カウンターパートによる依頼事項 問題提起等、対応案等につき自由 討議
6	21(金)	マニラ	午前 NMPとの協議 大使館調査報告 午後 JICA調査報告 NMP側関係者との懇親会 JICA事務所との懇親会	ピメンテル校長、 パロモ副校長ほか 小山一等書記官 松本所員、 ピメンテル校長ほか 宮本所長	ミニッツ内容につき協議、検討 日下団長とピメンテル校長による 仮署名 仮署名ミニッツ手交、説明 ミニッツ手交、サイトの現状と調査の成果につき説明
7	22(土)	マニラ	資料整理		
8	23(日)	マニラ → 成田	帰国		

2. プロジェクトの進捗状況

2-1 訓練コースの計画と開設状況及び受講実績

訓練コースは、いずれも予定（別添資料1参照）どおり開講されており、全体としての受講生数は順調に増加している（別添資料2参照）。1989年と比して航海、機関が増加しており、特にレーダー関係受講生の増加が著しい。

受講生が増加した理由として、昨年から実施されたOWWA（海外労働者厚生庁）による無償の奨学制度が大きく貢献している。

OWWAの給付資格者は2年以上の乗船実歴のある者で最高3,500ペソまで無償で支給される。ちなみにマニラとタクロバン間の往復航空運賃及び2週間コースの受講料で3,500ペソ程度である。

受講生数	1989年	1,207人
	1990年	1,639人
OWWA奨学金給付実績	1989年	299人
	1990年	709人

（'90年8月31日現在）

2-2 訓練機材の整備及び使用状況

全般的には大変有効に活用されており、現状では良好であるといえるが、各シミュレーターのプリント配線板等の故障が時折り発生している。

この対策として昨年、NMP構内の給電電圧が230Vから215Vに下げられ、それ以来、故障件数は大幅に減少している。

しかしながら突然の停電は従来通り頻繁に起きており、これが機材の電子回路に悪影響を与えている。現在までのところでは、幸いにもメンテナンスのエンジニアの修理で対応されている。

現在停電時は、JICAが供与した発電機を始動することにより、訓練棟分の電力（照明、実習用機材等）を供給し、授業は継続されているが、やはりシミュレーターの立ち上がり時間等が必要とさえるため20～30分の時間が停電毎に浪費されている。このため故障の発生を最小限に押されるため現地調達により、近い将来、無停電電源装置（UPS）を設置する予定である。

今後は、長期的なメンテナンス・スケジュールの策定並びに、故障に対する対応のマニュアル化が望ましい。

2-3 カウンターパート(教官)の配置及び募集

タクロバンに常駐する訓練部長は現在60歳に達しており、近い将来、離職することになっている。後任としては、現在乗船中の船長が赴任の予定である。

現在、航海、機関、特別コース(タンカー等)、メンテナンスを含むカウンターパートは合計で6名不足している(別添資料3参照)。

カウンターパートについては個人の各種事情で退職していく例が多いため、適格な人材の補充に困難をきたしている。

このため若い人材を育て、複数のモジュールを兼任できるように教育(cross training: 別添資料4参照)することにより、これを対処しようとしている。

また、現在同校は教育のFaculty Development Planとして3-Year Planを実施している。これは教官に対して、2年間教鞭を取るとに休職して、この間乗船する機会を与えるもので、これにより上級の海技免状を取得する機会を作っている。

3. NMP の運営体制

3-1 予算執行状況

比側予算は十分に獲得されている。今年度訓練機材購入、修理費用として1,500万ペソを予算化しており、継続的かつ計画的なメンテナンスを行う体勢を整備し、必要に応じて諸機材の購入及びメンテナンス費用に充当している。(別添資料5参照)

3-2 施設整備状況

FAP (Foreign Assisted Project) 推進予算による1989年の4月で計画又は工事中であった施設については、敷地フェンスは約80%が完成し、また訓練士官用、教官用寮の並びに多目的ビル(体育館を含む)については、予定地への道路が完成し、土盛りを実施している。(別添資料5参照)

工事予定は遅れているが、予算は十分に付いており、着実に進行している。

4. 今後のプロジェクト実施計画

4-1 コース開設計画及び受講見通し

新規モジュールは以下のとおりであり、1991年早々の開講に向け準備を要請した。

- | | |
|---|------|
| ① Crude Oil Washing & Inert Gas System | 5日間 |
| ② Dangerous Cargo Goods | 3日間 |
| ③ Radio Telephony | 5日間 |
| ④ Electronic Navigation System
(Global Positioning System) | 12日間 |
| ⑤ International Rules of the Road | 40時間 |

なお、1991年度研修実施計画及び受講者数見通しは別添資料6参照。

4-2 専門家派遣計画及び研修員受け入れ計画

開設予定の新規訓練モジュールに係る機材の据付けがNMPの資金調達等の事情により遅れている。

このため短期専門家派遣を機材の据付けの事前準備の完了と時期を合わせるよう所要の調整を図り、10月14日から2週間、機材据付け、取扱い専門家3名を派遣する。

これに先がけ10月4日から2カ月間、通信技術指導(船舶無線)専門家1名を派遣する。

一方、現在、航海、機関各2名の研修生が日本において研修中である(平成2年7月13日～10月13日)。さらに準高級研修員としてピメンテル校長を平成2年10月23日から11月7日まで受け入れることで準備中である。なお、当初船員教育行政集団コースに個別枠で研修参加を予定していたMs. T. Ayasoが諸般の事情で研修参加を辞退したため、補欠候補であったMs. Cano-noを受け入れる方向で、研修事業部と協議し、研修日程につき鋭意作成準備中である。

5. NMP 側との協議

5-1 主な協議内容

- 冒頭ピメンテル校長は調査団に対し、これまでの日本政府による当プロジェクトへの円滑な実施協力について感謝の意を表した。
- これに対し団長から、NMPのこれまでの当プロジェクト実施に向けての努力に感謝の意を表すとともに、今回の目的が当プロジェクト延長期間半ばにあたり、NMP側の予算、教官のリクルート問題、訓練生の増加対策、新規モジュールの効果的な実施等につき調査、打合せすることである旨述べ、比側の協力を求めた。

効果的な実施にあたっては双方ともに十分な予算確保が不可欠であることを認識し、供与機材設備等の維持管理に留意し、教官や研修生に、より魅力のある学校づくりのための諸方策を実施することとした。

- 海外労働者厚生庁（OWWA）による無償奨学金制度の充実強化の必要性につき双方とも合意。調査団はOWWA 奨学金の給付実績が大幅に増加したことにつきNMPの努力を高く評価するとともに、引き続いて実績の向上につき依頼した。
- 新規開設モジュール用供与機材の据付け準備を今年中に行い、来年（1991年）早々の開設に備えることとした。
- カウンターパートの派遣につき、機材据付け専門家3名、及び通信技術講義指導（船舶無線）専門家1名を10月初旬から実施すべく準備中である旨伝えた。
- 研修員受入れ制度はカウンターパートの知識、技術、仕事への取り組み姿勢等に大きく貢献しているとして感謝した。

これに対し調査団は、10月23日から11月7日まで、ピメンテル校長を準高級研修員として受け入れるために研修事業部で日程等受入れ準備中である旨伝え、日本での再会を約した。

また、当初船員教育行政集団コースに個別枠で研修参加予定のMs. T. Ayasoの個人的理由による辞退を了解し、Ms. Ayasoに代って補欠候補であったMs. Canonoを受け入れることで準備している旨伝えた。これに対しNMP側は現在Ms. Canonoは研修に必要な諸準備を行い、出発に備えていると語った。

- NMPは懸案となっている基本的な電気、水、電話の安定供給は、現在のところ財政的理由により困難をきたしているが、引き続き改善に努力することとした。

これに対し調査団は、日本側としても、これらの安定供給、特に電話線の復旧は当プロジェクト実施のためには、急務かつ不可欠であることから、できる限りの応分の支援をする用意がある旨伝えた。

- 双方ともに、次回の評価ミッションの訪比前に機材及び設備整備維持調査団の派遣が必要であるとの認識で一致した。また当プロジェクトが終了する1991年末までに評価ミッションを派遣し、進捗状況を確認し、プロジェクトの完成度につき評価を行うこととした。

5-2 ミニッツ署名

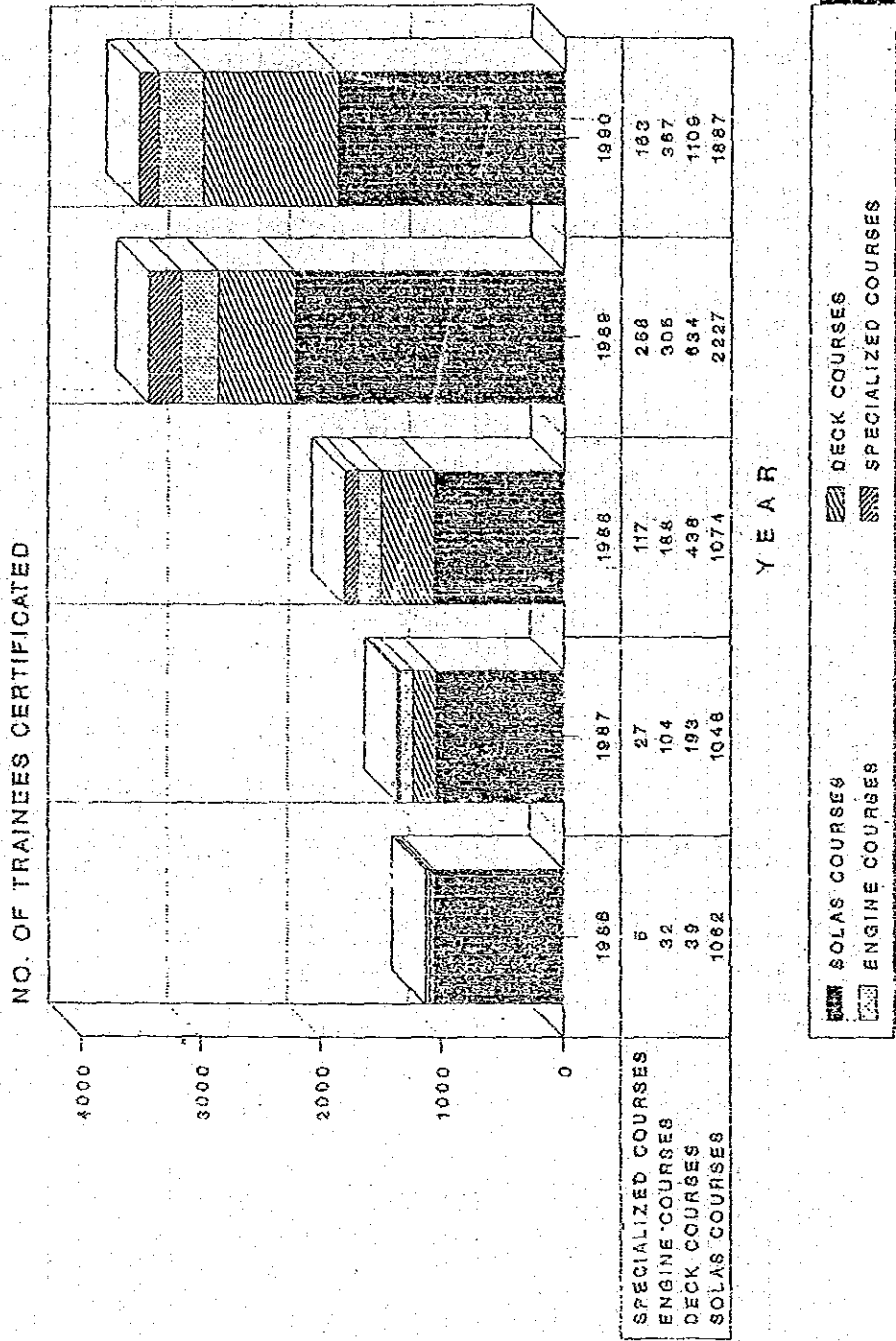
NMPとの協議及び合意事項は以下のとおり。

当初ミニッツ署名は団長と労働雇用大臣との間で行われる予定であったが、あいにく同大臣がフィリピンに不在のため、両者間での署名が不可能となった。

このためピメンテル校長との仮署名という形で行い、後日、同大臣の署名を取り付けることとした。

調査団帰国後に同大臣が署名したミニッツを取り付け、最終的には団長と同大臣との間で署名が行われたことになる。

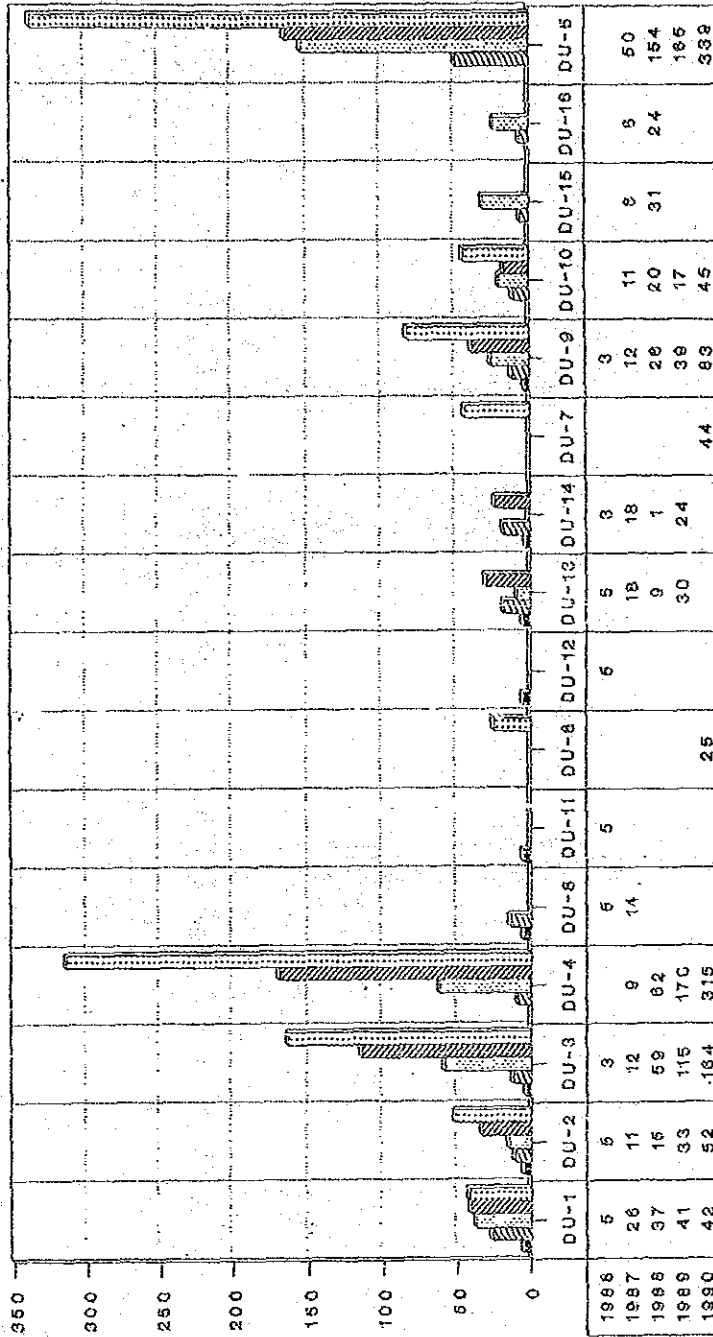
NMP TRAINEES GROWTH 1986-1990



AN ABS-NDE PRODUCTION
NMP EOP CENTER

NMP TRAINEES GROWTH DECK COURSES

NO. OF TRAINEES CERTIFICATED



MODULES

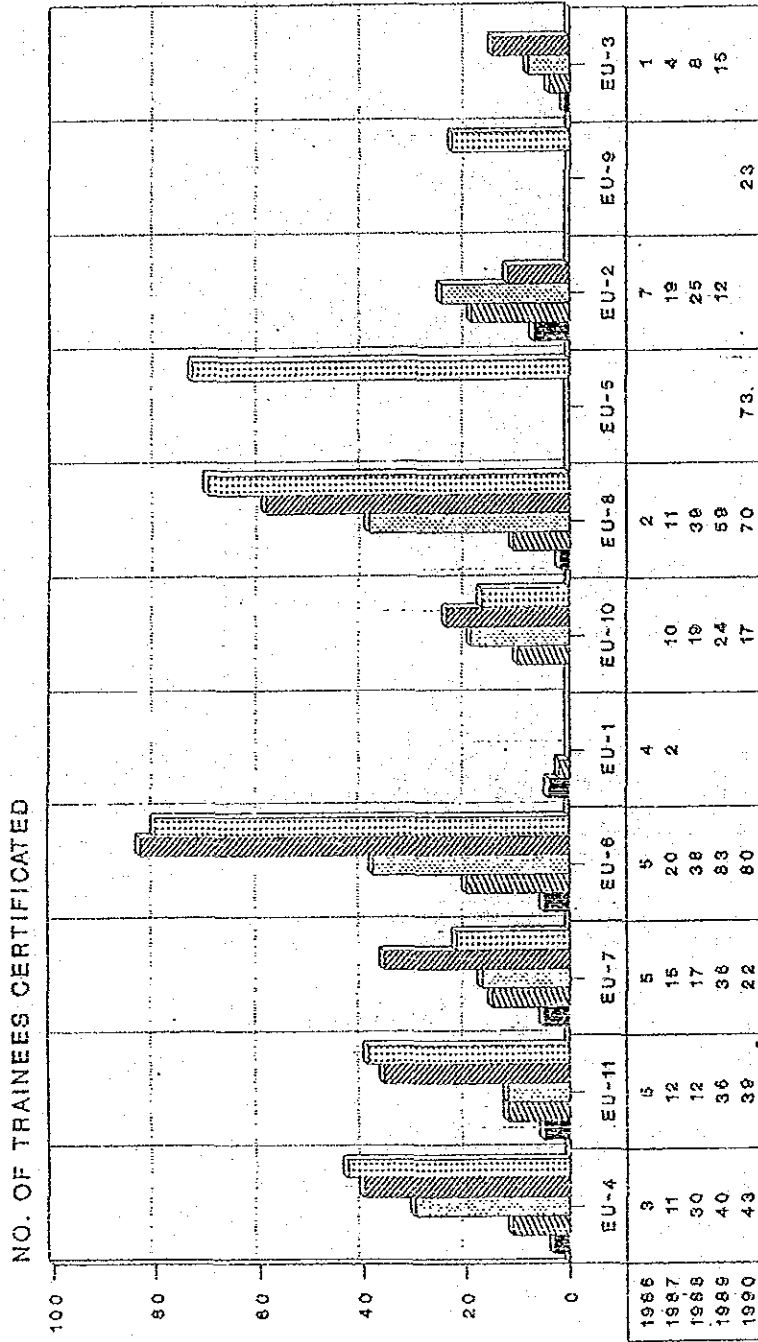
LEGEND:

- DU-1 Electronic Navigation System
- DU-2 Ship Handling and Manoeuvring
- DU-3 Radar Observer Course
- DU-4 Radar Simulator Course
- DU-5 Automatic Radar Plotting Aid
- DU-6 Marine Meteorology
- DU-7 Prac. of Nav./Aids to Nav.
- DU-8 ESC with ARPA
- DU-9 Ship Cons'n, Trim & Stability
- DU-10 Safe Cargo Handling Storage
- DU-11 Meteorology
- DU-12 Magnetic and Gyro Compass
- DU-13 Practice of Navigation
- DU-14 Aids to Navigation
- DU-15 Aids to Nav./Meteorology
- DU-16 Prac. of Nav. and Compresses



AN AGN-NRE PRODUCTION
NMP EOP CENTER

NMP TRAINEES GROWTH ENGINE COURSES



MODULES

Legend for Modules:

- EU-1 Hydraulics/Mechanics
- EU-2 Diesel Propulsion Plant
- EU-3 Steam Plant
- EU-4 Electrotechnology
- EU-5 Modern Marine Propulsion System
- EU-6 Marine Electricity
- EU-7 Auxiliary Systems
- EU-8 Control Engineering
- EU-9 Steam Plant/4 Stroke D. Engine
- EU-10 Hydromechanics
- EU-11 Refrigeration/Airconditioning

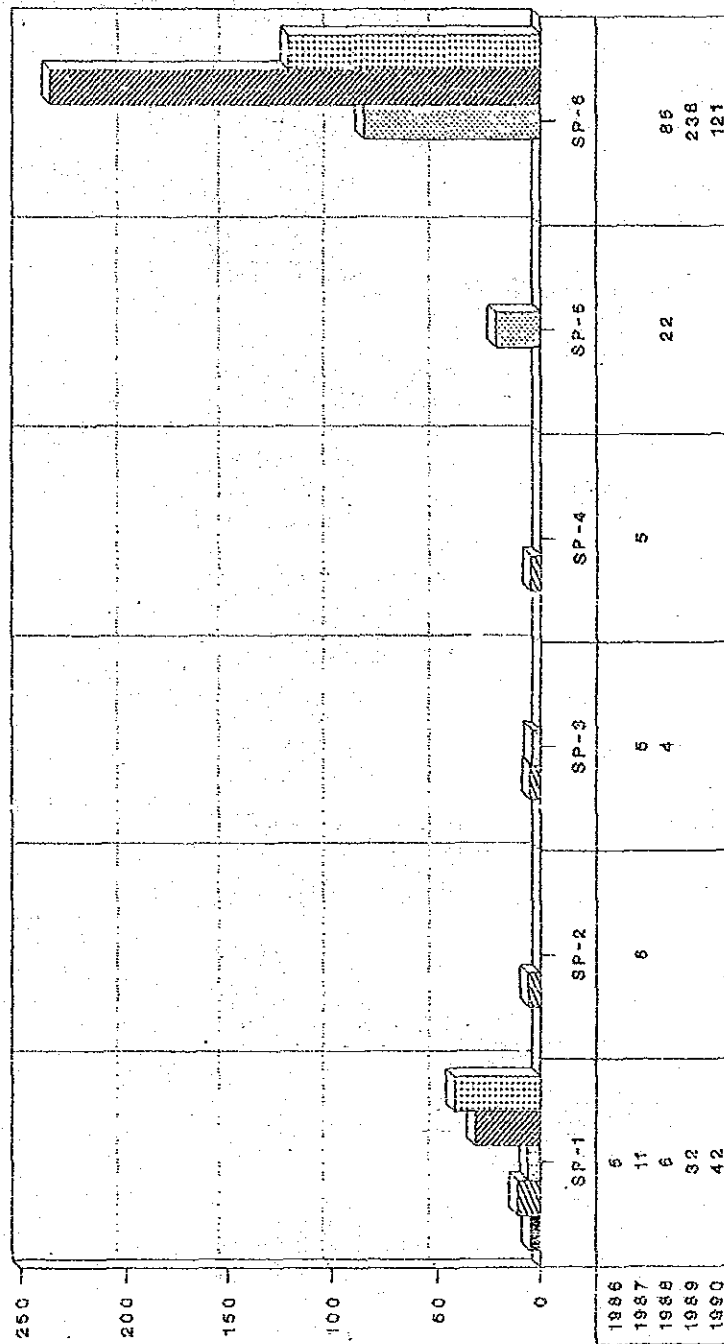
Legend for Years:

- 1986 (White)
- 1987 (Diagonal lines /)
- 1988 (Diagonal lines \)
- 1989 (Dotted)
- 1990 (Horizontal lines)

AP, AB, NBE Production
NMP, EDP, CENTER

NMP TRAINEES GROWTH SPECIALIZED COURSES

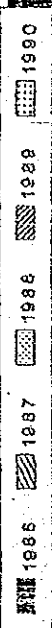
NO. OF TRAINEES CERTIFICATED



MODULES

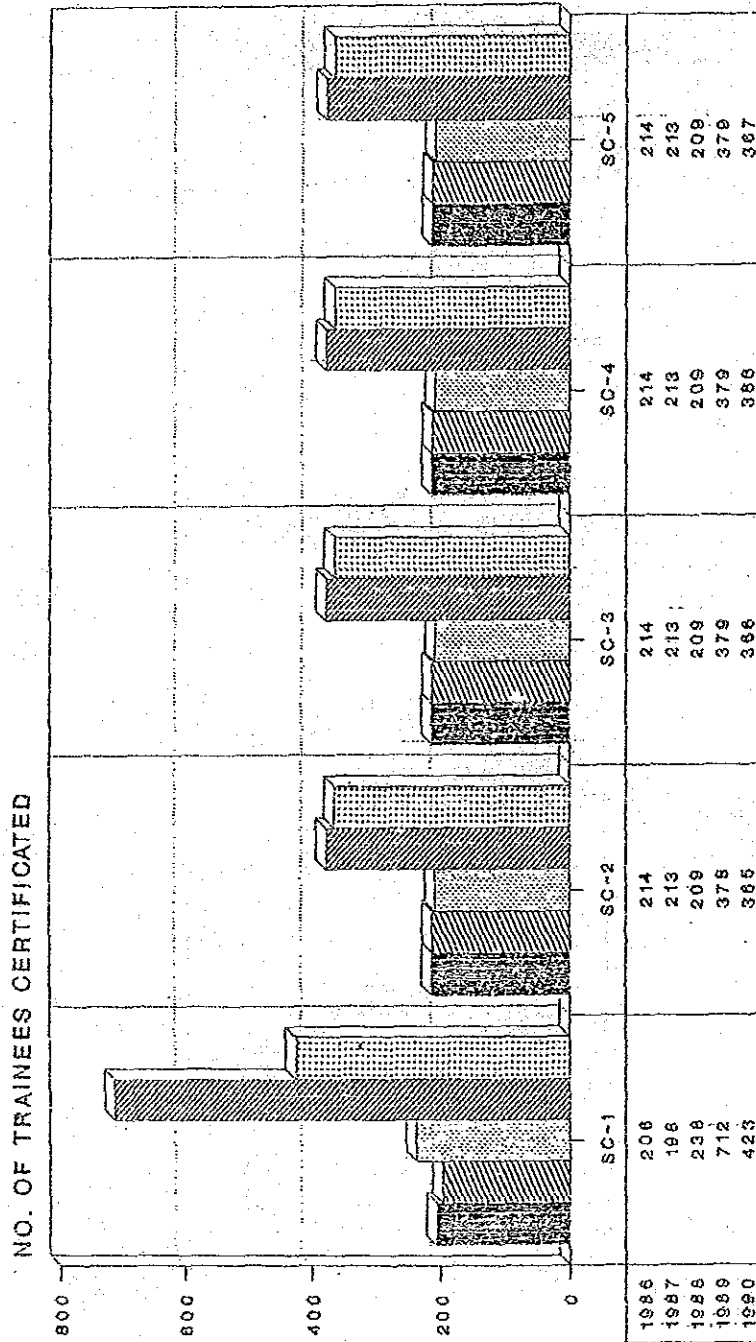
LEGEND:

- SP-1 Tanker Operation Course
- SP-2 Special Tanker Operation Course
- SP-3 Cargo/Tanker Handling Simulator
- SP-4 Tanker Safety Operation Advance
- SP-5 Tanker Safety Operation
- SP-6 Tanker Safety Course



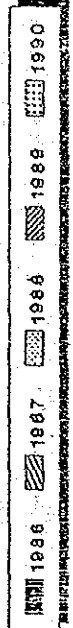
An ABS-NSE Production
NMP/SDP CENTER

NMP TRAINEES GROWTH SOLAS COURSES



MODULES

- U.S.G.N.P.
- SC-1 Maritime Leadership and Behavior Development
- SC-2 First-aid-at-Sea
- SC-3 Fire Fighting
- SC-4 Proficiency in Survival Craft
- SC-5 Survival at Sea



AP 408-NDE Production
NMP EDP CENTER

別添資料 2-5

受講者数及び修了者数

Republic of the Philippines
Department of Labor and Employment
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
CabaJawan, Tacloban City

Detailed Distribution of Actual Enrolees and Trainees Certificated per Module
A Comparative Report for the Years 1986, 1987, 1988, 1989 and 1990 (As of August only)

MODULES	1986		1987		1988		1989		1990	
	ACTUAL ENROLEES	CERT	ACTUAL ENROLEES	CERT	ACTUAL ENROLEES	CERT	ACTUAL ENROLEES	CERT	ACTUAL ENROLEES	CERT
DECK COURSES										
1 Electronic Navigation System	5	5	28	26	37	37	44	41	45	42
2 Ship Handling & Maneuvering	5	5	12	11	16	15	34	33	52	52
3 Radar Observer Course	3	3	12	12	69	59	125	115	175	164
4 Radar Simulator Course	-	-	9	9	64	62	186	170	328	315
5 R. S. C. with ARPA	6	5	15	14	-	-	-	-	-	-
6 Meteorology	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-
7 Marine Meteorology	-	-	-	-	-	-	-	-	27	25
8 Magnetic and Gyro Compass	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-
9 Practice of Navigation	5	5	24	18	32	9	50	30	-	-
10 Aids to Navigation	5	3	25	18	3	1	24	24	-	-
11 Prac. of Nav./ Aids to Nav.	-	-	-	-	-	-	-	-	44	44
12 Ship Cons'n., Trim & Stability	3	3	12	12	26	26	39	39	83	83
13 Safe Cargo Handling/ Stowage	-	-	11	11	20	20	18	17	48	45
14 Aids to Navigation/Meteorology	-	-	6	6	31	31	-	-	-	-
15 Prac. of Nav. and Compasses	-	-	6	6	24	24	-	-	-	-
16 Automatic Radar Plotting Aid	-	-	50	50	154	154	167	165	343	339
Sub-total -	42	39	210	193	476	438	667	634	1,145	1,109
ENGINE COURSES										
1 Electrotechnology	3	3	11	11	30	30	62	40	53	43
2 Refrigeration/Airconditioning	5	5	13	12	14	12	36	36	49	39
3 Auxiliary System	5	5	15	15	18	17	37	36	22	22
4 Marine Electricity	5	5	20	20	38	38	85	83	84	80
5 Hydraulics/Mechanics	4	4	6	2	-	-	-	-	-	-
6 Hydromechanics	-	-	13	10	29	19	37	24	27	17
7 Control Engineering	2	2	12	11	41	39	59	59	72	70
8 Modern Marine Propulsion System	-	-	-	-	-	-	-	-	90	73
9 Diesel Propulsion Plant	7	7	19	19	25	25	44	12	-	-
0 Steam Plant/4 Stroke D. Engine	-	-	-	-	-	-	-	-	36	23
1 Steam Plant	1	1	4	4	9	8	15	15	-	-
Sub-total -	32	32	113	104	195	188	373	305	433	367
SPECIALIZED COURSES										
1 Tanker Operation Course	5	5	22	11	11	6	34	32	66	42
2 Special Tanker Operation Course	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-
3 Cargo/Tanker Handling Simulator	-	-	5	5	4	4	-	-	-	-
4 Tanker Safety Operation Advance	-	-	5	5	-	-	-	-	-	-
5 Tanker Safety Operation	-	-	-	-	22	22	-	-	-	-
6 Tanker Safety Course	-	-	5	-	107	85	239	236	116	121
Sub-total -	5	5	43	27	144	117	273	268	182	163
UPGRADING TOTAL	79	76	366	324	815	745	1313	1207	1,760	1,639
SOLAS COURSES										
1 M L F D	206	206	196	196	238	238	712	712	425	423
2 First-Aid-at-Sea	214	214	213	213	209	209	378	378	367	365
3 Fire Fighting	214	214	213	213	209	209	379	379	371	366
4 Proficiency in Survival Craft	214	214	213	213	209	209	379	379	369	366
5 Survival at Sea	214	214	213	213	209	209	379	379	370	367
S O L A S SUB-TOTAL	1,062	1,062	1,048	1,048	1,074	1,074	2,227	2,227	1,902	1,887
GRAND TOTAL	1,141	1,138	1,414	1,372	1,889	1,817	3,540	3,434	3,662	3,526
OVER - ALL TOTAL TRAINEES CERTIFICATED FROM 1986 - 1990 (AUGUST)										11,287
OVER - ALL TOTAL ENROLEES FROM 1986 - 1990 (AUGUST)										11,646

mp-edp/asbacason/090790)

別添資料3. カウンターパートの配置状況

SECTION	MODULE	TRAIN R REQUIREMENT		
		2-Year Plan	3-Year Plan (2年教養) (1年実務)	Actual
<u>Deck</u>				
	1. Electronic Navigation System	2		2*
	2. Radar Observers' Course (ROC)	2		2**
	3. Radar Simulator Course (RSC)	2		2*
	4. Automatic Radar Plotting Aid (ARPA)	2		1
	5. Safe Cargo Handling & Stowage	2		1
	6. Shiphandling & Maneuvering	2		1
	7. Ship's Trim & Stability	2		1***
	8. Practice of Navigation	2		1***
	9. Marine Meteorology	2		2**
	Sub-total:	18	15	13
<u>Engine</u>				
	1. Electrotechnology	2		1
	2. Modern Marine Propulsion System	2		1
	3. Marine Electricity	2		2*
	4. Control Engineering	2		2*
	5. Auxiliary System	2		2**
	6. Steam Plant	2		1
	7. Hydromechanics	2		1
	8. Refrigeration & Airconditioning	2		2**
	9. Marine Electronics (upon availability of equipment)	2		2
	Sub-total:	18	15	13
<u>Specialized Courses</u>				
A. Upgrading				
	1. Tanker Safety	2		2*
	2. Tanker Operation	2		2*
	3. Safety in Ships Carrying Dangerous & Hazardous Goods other than Bulk (upon availability of books & trainees)	2		1
	4. Radiotelephony/INMARSAT (upon availability of equipment)	2		1*
	5. Crude Oil Washing/Inert Gas System (upon availability of equipment)	2		5
		10	3	6

6人不

別添資料3-1

B. SOLAS	(機材供与のみで技術協力には無関係)		
	Maritime Leadership & Behavior Development	2	2
	2. First Aid at Sea	2	2
	3. Firefighting	2	2
	4. Proficiency in Survival Craft	2	2
	5. Survival at Sea	2	2
	Sub-total:	10	8
	GRAND TOTAL:	56	46

LEGEND:

- * - One trainer on leave
- ** - One trainer on counterpart training
- *** - One trainer on leave; module being handled by a qualified trainer as extra load

The National Maritime Polytechnic is presently offering a total of 19 upgrading modules and 5 SOLAS modules and has programmed an additional of offering 4 modules upon completion of installation of training equipment.

The above tabulation is based on the Rotation Plan of the Faculty Development Program of the NMP. It shows trainer requirement for a 2-year plan wherein it is envisioned that the trainers will teach ashore for one year and serve on board for one year; and a 3-year plan wherein NMP trainers will teach ashore for two years and serve aboardship for one year.

It also shows the actual number of trainers assigned to handle the modules.

別添資料 4.

DECK SECTION CROSSTRAINING PROGRAM

	fully crosstrained (can handle the module)	partly crosstrained	undergoing crosstraining	BNS	ROC	RSC	ARPA	Prac. of Navi- gation	Meteo- rology	Trim & Stabi- lity	Ship Hand- ling & Manue.	Cargo Hand- ling Course
Jude O. Cortez (Prof.)					●	●	●			○		
Genis S. Murallos (Prof.)	○	○			○	○	○			●	●	●
Manuel M. de Leon (Prof.)	●	○			●	●	●			●		
Severo P. Cuisson, Jr. (Prof.)										●		●
Joselito Erum (Prof.)								●	●			
Dennis G. Tan (Asso. Prof.)	●	●			●	●	●	●		●		
Adriano M. Dominise (Asso. Prof.)		○			○	○	○	●	●			
Jesus Lagultan (Asso. Prof.)	○	○			○	○	○					
German Alilio (Asso. Prof.)										●		
Ferdinand T. Go (Asst. Prof.)	▲	●			●	●	●					
Pablo O. Santos, Jr. (Asst. Prof.)										●	●	●
Jaime Macawille (Asst. Prof.)								●	●			
Reynaldo Comendador (Asst. Prof.)	●				○	○	○					
Ruben Y. Maceda (Instructor)		●			○	○	○					
Reynaldo Bacal (Instructor)		●										
Roberto Aguirre (Instructor)	●											

JSF/brm

/September 18, 1990

ENGINE SECTION CROSSTRAINING PROGRAM

● fully crosstrained (can handle the module) ○ partly crosstrained ▲ undergoing crosstraining	Marine Electricity	Auxiliary System	Hydromechanics	Steam Plant & 4-Stroke	Control Eng'g.	Modern Marine Propulsion Sys	Ref. and Aircond.	Electro-technology	Marine Electronics
Jorge S. Factuar (Prof.)		○	●	○	▲	●			
Illuminado M. Hinagpis (Prof.)	○	○		●	●		●		
Pedro Militante (Asso. Prof.)		▲	●				▲		
Tirso R. Puray (Asso. Prof.)	○	○		●	○	●			
Rey D. Tanudtanud (Asso. Prof.)	●				●			●	●
Claro L. Coscos (Asso. Prof)		●	▲				▲		
Robert G. Arandia (Asst. Prof.)	●	▲		▲	▲				
Mario N. Guinez (Asst. Prof.)		▲	▲	○			●		
Maximino Iran (Asst. Prof.)	●	●	▲	○					
Alfredo S. Turla (Asst. Prof.)				▲			●		
Fernando Dimafelix (Asst. Prof.)					●				
John Gonzales (Instructor)	○				○			●	
Elmer E. Pangué (Professor)								●	●
Hector R. Ignacio (Asst. Prof.)								●	

JSP/brm

/September 18, 1990

別添資料 4-3 SPECIALIZED COURSES SECTION: CROSSTRAINING PROGRAM

<input checked="" type="checkbox"/> Fully crosstrained (can handle the module) <input type="checkbox"/> Partly crosstrained <input checked="" type="checkbox"/> Undergoing crosstraining	Tanker Safety Course	Tanker Operation Course	Maritime Leadership & Behaviour Dev.	First Aid at Sea	Firefighting	Proficiency in Survival Craft	Survival at Sea
TANKER COURSES							
Joselito Brum (Prof.)	●	●					
Jesus Laguitan (Asso. Prof.)	●	●					
German Allio (Asso. Prof.)	○	●					
Leopoldo Abelinde (Instructor)	○	○					
Wilson Nuez (Instructor)	○	○					
SOLAS :							
Remegios C. Cagulada (Prof.)			●				
Dominador S. Almonte (Asst. Prof.)					●	●	●
Crispo H. Salinas (Asst. Prof.)	▲		●				
Ma. Melba L. Esquibel (Asst. Prof.)				●			
Gil Sofronio Brazilleno (Asst. Prof.)			○	●	○	○	○
Zacarias G. Rosete (Asst. Prof.)						●	
Teofilo R. Nieto Sr. (Instructor)	○				●	○	○
Filomeno M. Idio (Instructor)					●	○	○
Dominador V. Bitago Sr. (Instructor)	○			●	○		●
Jesus D. Aquino (Instructor)	○				○	○	●
Mariano Nisperos (Instructor)	●						

別添資料 5. 予算執行状況

Republic of the Philippines
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
Cabalawan, Tacloban City

1985 - 1990 BUDGET

GENERAL FUND (101)

<u>YEAR</u>	<u>TOTAL</u>	<u>PERSONAL SERVICES</u>	<u>MAINTENANCE & OTHER OPERATING EXPENSES</u>	<u>CAPITAL OUTLAY</u>
1985	P 9,043,000	P 4,591,000	P 1,110,000	P 3,342,000
1986	13,367,000	5,050,000	1,877,000	6,440,000
1987	8,045,000	5,892,000	2,153,000	-
1988	11,715,000	6,359,000	2,369,000	2,987,000
1989	16,314,000	8,532,000	7,627,000	155,000
1990	14,675,000	8,548,000	6,127,000	-

FOREIGN ASSISTED PROJECTS FUND (102)

1988	22,000,000	-	-	22,000,000 **
1989	25,000,000	-	1,000,000	24,000,000
1990	45,000,000	-	-	45,000,000 **

SOURCE: General Appropriations Act

** not incorporated in the General Appropriations Act.

Prepared by:

Evelyn T. Futol
EVELYN T. FUTOL
Budget Officer I

NOTED BY:

Lourdes Mrosol A. Cayaco
LOURDES MROSOL A. CAYACO
Accountant I

別添資料 6.

BREAKDOWN OF TARGETS

(as submitted to DOLE)
CY 1991

	<u>No. of Batches</u>	<u>No. of Trainees/ Batch</u>	<u>No. of Cer- tified Trainees</u>
<u>A. Deck Upgrading Courses:</u>			
<u>Modules</u>			
1. Practice of Navigation and Aids to Navigation	11	8	88
2. Marine Meteorology	11	8	88
3. Electronic Navigation	11	8	88
4. Trim and Stability	11	8	88
5. Safe Cargo Stowage	11	8	88
6. Ship Handling and International Rules of the Road	11	8	88
7. Radar Observers' Course	11	12	144
8. Radar Simulator course	12	12	144
9. Automatic Radar Plotting Aid	12	12	144
Sub-total	102		960
<u>B. Engine Upgrading Courses:</u>			
<u>Modules</u>			
1. Electrotechnology	11	8	88
2. Marine Electricity	11	8	88
3. Auxiliary Systems	11	8	88
4. Hydromechanics	11	7	77
5. Steam Plant	11	8	88
6. Modern Marine Propulsion System	11	7	77
7. Control Engineering	11	8	88
8. Refrigeration	11	7	77
9. Marine Electronics	10	8	80
Sub-total	98		751
<u>C. Specialized Courses:</u>			
<u>Modules</u>			
1. Tanker Operation Course	12	10	120
2. Tanker Safety Course	12	20	240
3. Safety in Dry Cargo Ship Carrying Dangerous and Hazardous Goods	12	15	180
4. Crude Oil Washing and Inert Gas System	12	15	180
5. Radio Telephony/INMARSATCOM System	12	20	240
Sub-total	60		960
<u>D. SOLAS Courses:</u>			
<u>Modules</u>			
1. Maritime Leadership and Behavior Development	20	30	600
2. First Aid at Sea	20	30	600
3. Firefighting	20	30	600
4. Proficiency in Survival Craft	20	30	600
5. Survival at Sea	20	30	600
Sub-total	100		3,000
GRAND TOTAL	360		5,671

THE MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JICA ADVISORY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC TRAINING CENTER PROJECT

The Japanese Advisory Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by CAPT. HARUO KUSAKA, Director, Education Division, Seafarers Department, Ministry of Transport, visited the Republic of the Philippines from September 16 to 23, 1990 for discussing and ensuring the smooth implementation of the Philippine National Maritime Polytechnic (NMP) Training Center relative to the Japanese technical cooperation under the scheme of the NMP Training Center Project (hereinafter referred to as "the Project").

The Philippine side, represented by CAPT. GEORGE M. PIMENTEL, Executive Director of NMP, reported on the management and operation of the Project and expressed their gratitude to the Team for the effective and smooth cooperation from the Government of Japan.

The Team gave a brief statement on their mission and noted the recent improvements of the Project in the management and operation including adequate budgets, recruitment of qualified instructors, increase in the enrollment of trainees through intensified marketing and information campaign and effective implementation of existing modular and extension courses, and highly appreciated the efforts made by the authorities concerned of the Government of the Republic of the Philippines.

Both sides recognized the effectiveness of the scholarships provided to NMP trainees by the Overseas Workers Welfare Administration of the Department of Labor and Employment.



The Team, however, noted some delays in the construction of the officers' dormitory due to existing soil condition at construction site and in the implementation of the proposed new training modules.

With regard to the new modules, preparations are being finalized for the installation of equipment for these new courses by the last quarter of 1990 for implementation early 1991.

The Team informed the Philippine side of the 1990 JICA plan for the initial dispatch of a short term expert in ship telecommunication to be followed by short term experts in installation of training equipment for the new modules.

The Philippine side expressed appreciation for the continuing scholarship training of NMP Faculty in Japan, which has contributed to their knowledge, skills and attitudes, thus making NMP more attractive. Schedule of acceptance of counterparts, including an invitation for a high level official to Japan in the fiscal year of 1990, was discussed by both sides.

The Philippine side appreciated the support and assistance to NMP in terms of its program on Maritime Trainors Training which will be implemented in 1990. As to the proposals on other programs related to maritime activities like holding of seminars/symposia the Team will convey such plans to the Japanese Government.

The Team stressed the need for the Philippine side to undertake measures for the effective and efficient management and operation of the Project during its term.

In this respect, both sides agreed that efforts be made for the provision of appropriate budgetary allocations for the standard level of maintenance of equipment and facilities for each module, and for undertaking measures to make NMP more attractive for instructors and trainees.

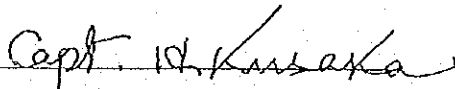


Both sides acknowledged the need for a team of short term experts before the next JICA evaluation mission, to examine future maintenance requirement for equipment and facilities.

The Philippine side cited their difficulties in securing constant power supply, water and telephone, and in this regard made a commitment to make every effort to secure such basic services. As regards securing telephone lines, some financing will be considered by the Japanese side, which may include wireless system.

The Team informed the Philippine side that a JICA evaluation mission will be sent before the end of 1991, to evaluate the implementation of the Project and to review and assess the commitments in accordance with the Minutes of Discussions.

Manila, September 21, 1990



CAPT. HARUO KUSAKA
Leader
Japanese Advisory Team
Japan International
Cooperation Agency



RUBEN D. TORRES
Chairman
Board of Trustees
National Maritime Polytechnic
Secretary, Department of Labor
and Employment

9/21/90
[Signature]

附 属 資 料

1. NMP平成元年度年次報告
 - 1-1 NMPの回顧録
 - 1-2 1989年度の運営上の重要課題
 - 1-3 1990年度の見通し
 - 1-4 財政状況の報告

2. 今日のNMP
 - 2-1 概 況
 - 2-2 教職員増強計画
 - 2-3 設備強化計画

3. NMP研修実施に係る戦略(1990～1992)

4. 新規モジュール

5. 1991年度の研修実施計画

6. NMPの教職員体制機構図

7. 1990年度研修計画パンフレット

NMP IN RETROSPECT

The National Maritime Polytechnic mandated by Presidential Decree No. 1369 shall train and update the country's maritime manpower resources through specialized and upgrading programs integrating values vital to social transformation for both licensed officers and ratings; conduct researches and studies on the latest maritime technologies and other related activities in the maritime industry; and, provide administrative and support services to ensure the delivery of quality maritime training and effective maritime studies.

The NMP turned 11 years in 1989. Young as it is, the agency moved on not without few problems. Since its inception, the NMP has been managed by four administrators.

Although its major task is to train and upgrade the country's maritime manpower resources its accomplishments in the issuance of Certificates of Proficiency from 1986-1988 is only 4,323 trainees to include upgrading courses for Deck and Engine officers, Tanker and Safety of Life at Sea (SOLAS) courses. This output is quite low because the NMP is at its development stage. Standards of Training, Certification and Watchkeeping (STCW) is not yet enforced and perhaps the NMP is not widely known.

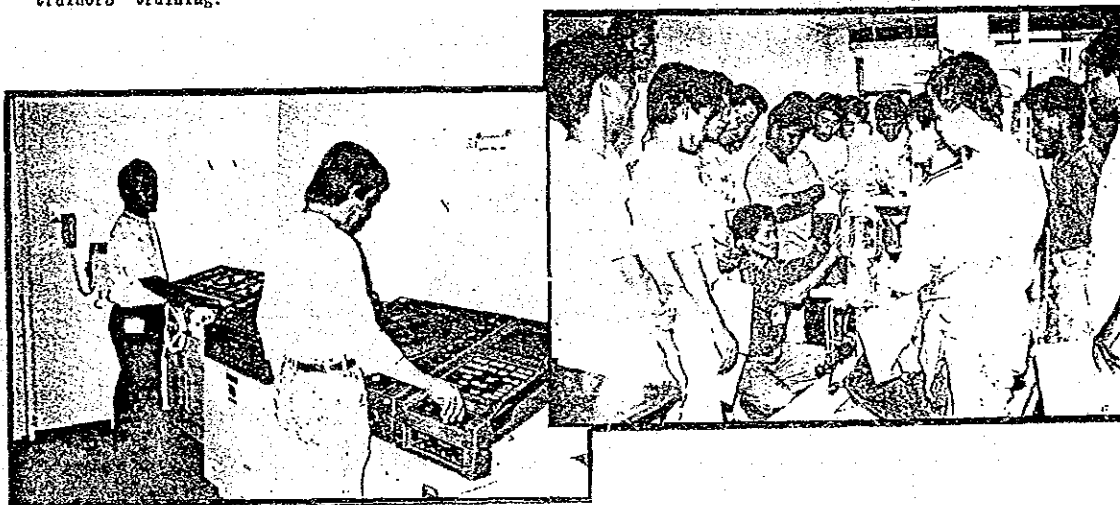
Other maritime training activities include the conduct of the NMP-PAMI, Faculty development programs, familiarization programs for the PAMI graduating cadets and faculty in-house training programs such as faculty cross-trainings and trainers' training.

On the conduct of researches and studies, proposals in line with the mandate of the NMP, particularly with the maritime training systems and standards development and evaluation, maritime industry trends management and organizational development were undertaken. Other activities include maritime information pooling and establishment of external linkages for resources and services, preparation of proposal for infrastructure projects and site development and the update and maintenance of the NMP training facilities.

During the past few years recruitment of personnel was intensified by the Polytechnic to cope with the increasing operational targets. To boost the morale of the NMP, promotions of qualified staff and opportunities for staff development were undertaken. In-house and foreign trainings, conferences, conventions, etc. were among these opportunities offered.

Other activities were directed towards the maintenance and upkeep of buildings, surroundings and facilities, fabrication of office furnitures and teaching aids, minor repairs of buildings and furnitures, purchase of supplies, materials and equipments.

Targeted activities in the past few years were not fully accomplished due to budgetary constraints. Counterpart funding from the Philippine government in the form of capital outlay was only effected in May 1988.



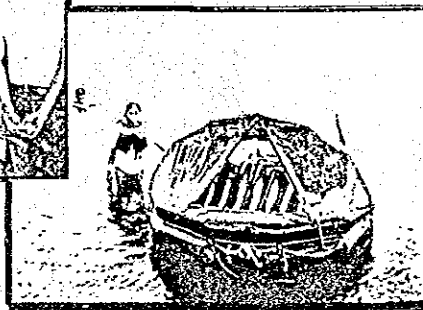
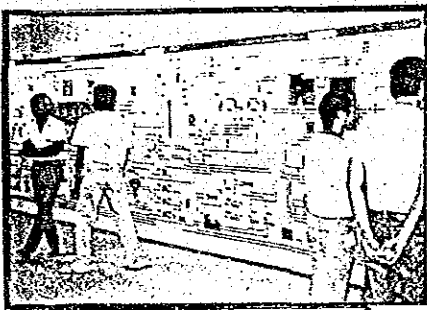
1989 OPERATIONS HIGHLIGHTS

The National Maritime Polytechnic as mandated by P. D. No. 1369 is of such magnitude necessitating full personnel complement with ample resources at their command.

As a service institution for manpower development, the faculty emerges as the backbone that normally calls for priority consensus of the management.

In 1989, the agency gained substantial accomplishments in the pursuit of its three-fold objectives :

1. To train and update the country's maritime manpower resources through specialized and upgrading programs integrating values vital to social transformation for both licensed officers and ratings;
2. To conduct researches and studies on the latest maritime technologies and other related activities in the maritime industry; and,
3. To provide administrative and support services to ensure the delivery of quality maritime training and effective maritime studies.



I. *TO TRAIN AND UPDATE THE COUNTRY'S MARITIME MANPOWER RESOURCES THROUGH SPECIALIZED AND UPGRADING PROGRAMS INTEGRATING VALUES VITAL TO SOCIAL TRANSFORMATION FOR BOTH LICENSED OFFICERS AND RATINGS.*

SEAFARERS TRAINING

Table 1
1989 Performance Accomplishment
on Number of Trainees Certificated

Key Indicators	: Target	: Actual	: Difference	: Percentage(%)
Deck Courses	: 780	: 633	: 147	: 81.15
Engine Courses	: 660	: 307	: 353	: 46.52
Specialized Courses	: 260	: 269	: 9	: 103.46
Safety of Life at Sea (SOLAS) Courses	: 1,925	: 2,238	: 313	: 116.26
	: 3,625	: 3,447	: 178	: 95.09

As shown in the table above, the Specialized Courses got the highest percentage of accomplishment while the Engine Courses accomplished the least. Similarly, comparing this performance with last year's, the Specialized Courses got the highest percentage increase (129.91%) (Table 2).

Table 2
Comparative Performance on the Number of Trainees
Certificated for 1988 and 1989

Key Indicators	: 1988	: 1989	: Difference	: Percentage(%)
Deck Courses	: 432	: 633	: 201	: 46.53
Engine Courses	: 190	: 307	: 117	: 61.58
Specialized Courses	: 117	: 269	: 152	: 129.91
Safety of Life at Sea (SOLAS) Courses	: 1,074	: 2,238	: 1,164	: 108.38
	: 1,813	: 3,447	: 1,634	: 90.13

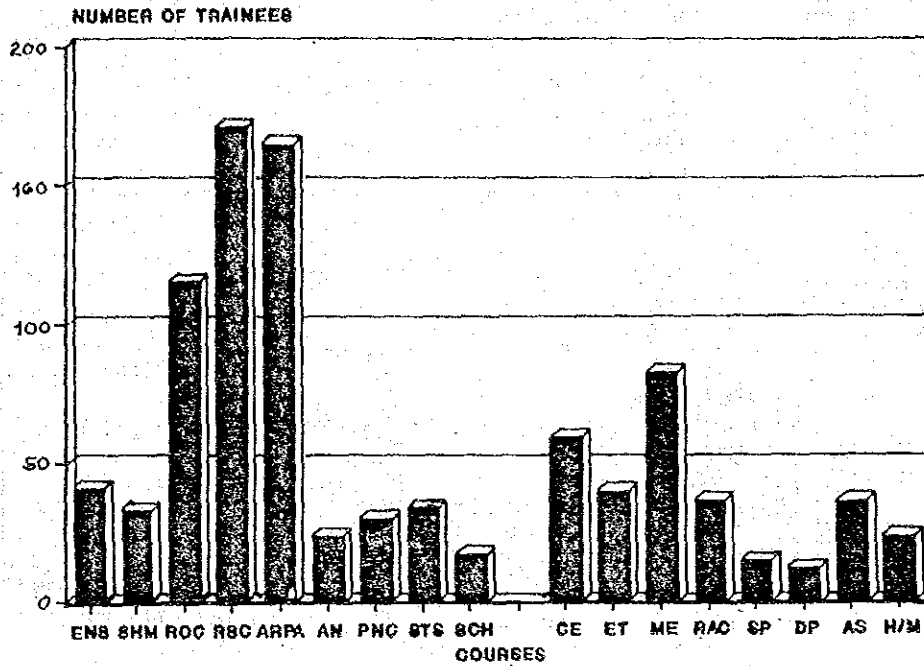
Although in some courses the enrolment is still low, a Memorandum of Agreement between the Overseas Workers Welfare Administration (OWWA) and the NMP has been signed granting scholarship and training loan to deserving seamen who may enroll at the NMP. With this program, 283 enjoyed the scholarship grant while 16 availed of the training loan. Of these number of trainees, 98 were sent by the companies listed in Table 3 which comprise the top 5 shipping companies that have been sending trainees to NMP.

Figure 1 presents a comparative performance of the different upgrading courses by modules in terms of trainees certificated. It is shown that the mandatory courses of Automatic Radar Plotting Aid (ARPA), Radar Observers Course (ROC), and Radar Simulator Course (RSC) had the most number of trainees certificated, while Diesel Propulsion got the least number of trainees certificated. Figure 2 on the other hand, shows that trainees with third mate (3M) and fourth marine engineer licenses comprise the bulk of trainees certificated in 1989.

Table 3
List of Companies with its Number of Trainees
Sent to NMP through the OWWA Scholarship Program

SHIPPING COMPANIES	No. of Trainees
Island Overseas Transport Corporation	20
Philippine Transmarine Carriers, Inc.	29
Phil-Japan Shipping	18
NAESS Shipping	17
Leonis Navigation	14

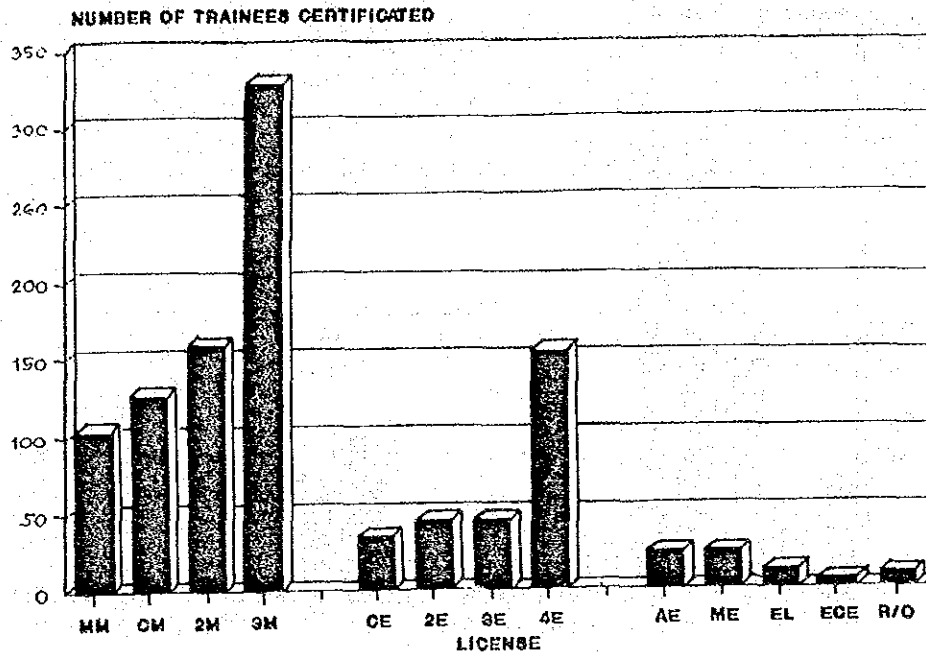
**Fig. 1. 1989 TRAINEES CERTIFICATED
UPGRADING COURSES**



LEGEND :

- | | |
|--|--------------------------------------|
| ENS - Electronic Navigation System | CE - Control Engineering |
| SHM - Ship Handling and Maneuvering | ET - Electrotechnology |
| RDC - Radar Observer Course | ME - Marine Electricity |
| RSC - Radar Simulator Course | RAC - Refrigeration/Air Conditioning |
| ARPA - Automatic Radar Plotting Aid | SP - Steam Plant |
| AN - Aids to Navigation | DP - Diesel Propulsion |
| PNC - Practice of Navigation and Compasses | AS - Auxiliary Systems |
| STS - Ships Trim and Stability | H/M - Hydromechanics |
| SCH - Ship Cargo Handling and Stowage | |

Fig. 2. CERTIFICATED TRAINEES BY LICENSE
1989



LEGEND :

- | | |
|----------------------|--|
| MM - Master Mariner | AE - Assistant Electrical Engineer |
| CM - Chief Mate | ME - Master Electrician |
| 2M - Second Mate | EL - Electrician |
| 3M - Third Mate | ECE - Electronics and Communication Engineer |
| CE - Chief Engineer | R/O - Radio Operator |
| 2E - Second Engineer | |
| 3E - Third Engineer | |
| 4E - Fourth Engineer | |

II. *TO CONDUCT RESEARCHES AND STUDIES ON THE LATEST MARITIME TECHNOLOGIES AND OTHER RELATED ACTIVITIES FOR THE MARITIME INDUSTRY.*

Research activities were intensified during the year in review with seven (7) research proposals prepared and eight (8) studies/researches conducted.

Proposals formulated and researches/studies conducted :

A. Learning Style Inventory of NMP Trainees

This is conducted to identify and describe the learning style of the NMP Upgrading Course trainees. Target respondents are the merchant marine officers taking upgrading courses at the NMP for the period October 1989 to March 1990. For this purpose the learning styles have been grouped into four learning modes, namely: reflective observations, concrete experience, active experimentation and abstract conceptualization.

B. Profile of NMP Trainees

The study was aimed at establishing a working document which would serve as basis for the improvement and development of the NMP upgrading program.

More specifically the study determined the following:

- a. profile of the upgrading course trainees in terms of the region of origin, age, civil status, license, educational background and shipboard experience.
- b. listing and ranking of shipping companies sending trainees to the NMP.
- c. financing scheme of trainees

Respondents covered 793 upgrading course trainees from January to December 1989.

Survey results revealed the following:

- a. The highest percentage of trainees came from the Southern Mindanao Region.
- b. A greater number of the respondents were 30-34 years old.
- c. Most of the trainees were deck officers with third mate license for deck and fourth engineer for engine.
- d. Leonis Navigation has the most number of trainees sent to the NMP.

- e. Thirty-eight per cent (38%) of the trainees was OWWA-sponsored.

Scholarship	-	283
Loan	-	16

OWWA Sponsored Trainees 299

Similar results were obtained in a separate survey from July 1986 to April 1989 except on the following:

- a. the highest percentage of trainees came from the National Capital Region; and
- b. the majority of trainees was company-sponsored

C. Survey on the Acceptability of the NMP Upgrading Courses

This survey aims to determine the acceptability of the proposed upgrading courses and their respective target clientele. Respondents included merchant marine officers from different manning agencies in Manila. As of the year end, data gathering was completed.

D. An Ideal Merchant Marine Officer: A Descriptive Study on the Perception of NMP Faculty and Trainees

This study will serve as a baseline information for the development and implementation of a value orientation and development program for Filipino seafarers. Likewise it would help in understanding seafarers and measuring their needs and expectations which in turn will guide in creating opportunities to actualize their performance as merchant marine officers.

Initially, an interview schedule was developed as the tool for data collection to elicit more information and give the interviewer a chance to observe the actual behavior/responses of the interviewees.

E. Statistical Survey on Maritime Trade

This survey aims to lay a groundwork for a study of the annual statistics of the Philippine maritime trade from 1983 to 1989.

The objectives of the study are:

1. to ascertain the general standing/trend of Philippine maritime trade.
2. to establish a pool of information on Philippine maritime trade that could provide the NMP a ready and accessible data on maritime trade which could be used for other studies and for some future references.

This study will result to a compilation of maritime statistics from 1983-1989 to include maritime manpower statistics, overseas remittance statistics (sea-based) and Philippine registered fleet statistics.

F. An Evaluation of the OWWA Familiarization Program

The evaluation covered the level of awareness of the participants of the NMP-OWWA Familiarization Tour before their visit to the National Maritime Polytechnic, their general impressions, particularly in the training equipment and facilities and the quality of training and faculty. It also elicited information on courses that their seamen employees should take. Comments and recommendations on other aspects were likewise solicited.

G. Survey on the Employability of the NMP Upgrading Course Graduates

This study is conducted specifically to determine the employment rate of Upgrading Course Graduates, their rate of promotion after training and performance on-board ocean-going vessels.

H. Pre-Training Appraisal on the Perception of Trainees Towards NMP

The survey was conducted to determine the perception of trainees towards the NMP specifically on the following:

- a. trainees level of awareness towards NMP.
- b. trainees attitudes towards NMP.
- c. reasons for enrolling at NMP.

Respondents covered NMP trainees from January to June 1989 and survey results revealed the following:

- a. Greater number of trainees heard of NMP from 1987-1989 and majority came to know about NMP through the manning agencies. Based on the above results, it was learned that the target clientele of NMP were the manning/shipping companies.
- b. Majority of the respondents enrolled at NMP to upgrade their skills.
- c. Based on the positive impressions and the level of awareness of the respondents towards NMP, it can be concluded that respondents perceived NMP as one of the best training centers with high quality of training and venue for upgrading their skills requirements.

Other research activities included maritime information pooling in terms of reference materials, maritime studies, news clippings and articles, research abstracts and maritime policies and regulations.

Development of standards and evaluation system forms part of the tasks of the researchers. For 1989, seven (7) evaluation instruments were developed to strengthen the internal efficiency of NMP covering the areas on curriculum and employees performance.

EXTENSION SERVICES

Other services to ensure the employment acceptability of the seafarers and make them more competitive in the international market are also undertaken by the NMP.

A. NMP Familiarization Program

A total of 211 cadets coming from three (3) different schools attended the familiarization program.

1. Philippine Association of Maritime Institution (PAMI) Schools

School	No. of Trainees
Southern de Oro College -	80
Mindanao Aeronautical & Technical School (MATS) -	26

	106

2. Other Schools

Divine Word University -	105

Total -	211

This program caters to the need of upgrading cadets from the different member institutions of the PAMI to undergo familiarization training at the NMP Training Complex. The program has the following objectives:

- o To update graduating merchant marine cadets with the latest maritime trends and technologies in the international maritime trade.
- o To inculcate a training-oriented outlook among future merchant marine officers.
- o To establish awareness and develop a sense of appreciation among graduating merchant marine cadets for the existence of modern sophisticated marine equipment and latest model of marine simulators.
- o To complement and supplement the trainees theoretical knowledge, skills and attitudes obtained from maritime institutions.

B. Specialized Training

This training program is developed by NMP based on the requests of certain shipping companies for the training of their crew on specific non-mandatory modules before embarkation. Trainees availing of this program are issued Certificates of Attendance in Hands-on Training on specific simulators.

C. IMO Course on Training for Teachers

The training course was undertaken in cooperation with the International Maritime Organization (IMO), Magsaysay Training Center and the Maritime Industry Authority (MARINA). This was participated in by 17 trainers from the different shipping companies and institutions, conducted 23 October to 04 November 1989. The main objective of the training is to improve the participants' training techniques and effectiveness in conducting training. The course content included IMO role; programs and contribution to training development of learning system, course construction, development of institutional strategies and presentational techniques. The course methodology consisted of lectures, discussions, workshops and field trips.

D. OWWA Familiarization Tour to NMP

This program is conducted in cooperation with OWWA that invites representatives of the maritime industry to NMP. With this program, NMP conducts familiarization tour for these representatives emphasizing the training scheme offered by NMP and the availability of the training equipment and simulators to the trainees for their hands-on training. Sixty-nine (69) manning/shipping agencies and organizations in the maritime industry availed of the OWWA tour to NMP.

JICA-NMP TECHNICAL COOPERATION

On November 2, 1989, Hon. Franklin M. Drilon, Chairman of the NMP Board of Trustees and Secretary of the Department of Labor and Employment (DOLE), representing the Philippine side and Mr. Moriya Miyamoto, Resident Representative, Philippine office of the Japan International Cooperation Agency (JICA), representing the Japanese side, signed the Minutes of Meetings of representative of both governments for the extension of the National Maritime Polytechnic Training Center Project for two more years until December 21, 1991. The said minutes contained the amendments to the Records of Discussion of which the government of the Republic of the Philippines has committed to take necessary measures to :

1. ensure the stability and retention of service of faculty member, and in particular, maintain smooth implementation of the Faculty Development Program.
2. appoint a Head of Maritime Training component with appropriate qualifications and sea experience, preferably Master Mariner/Chief Engineer.
3. maintain smooth implementation of the NMP-OWWA Scholarship Plan.
4. provide infrastructure projects including dormitories for training staff and trainees.
5. strengthen marketing and information activities.
6. undertake other measures to ensure quality training and trainees welfare.

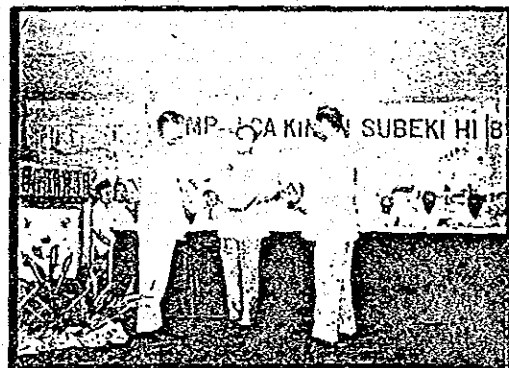


III. TO PROVIDE ADMINISTRATIVE AND SUPPORT SERVICES TO ENSURE THE DELIVERY OF QUALITY MARITIME TRAINING AND EFFECTIVE MARITIME STUDIES.

FACILITY DEVELOPMENT

As a counterpart commitment of the Philippine government to the Japanese government in the implementation of the NMP Training Center Project as stipulated in the Records of Discussions, there shall be infrastructure projects that will be provided by the Philippine government through NMP. Thus for 1989, NMP had the following on-going infra-projects:

- a. Officers' Dormitory
- b. Perimeter Fence
- c. Internal Roads
- d. Concrete Pathways, installation of lights and cyclone wire
- e. Repair of left and right wings of the Ratings Dormitory
- f. Completion of the Seawall Project
- g. Embankment Along Concrete Pathways (facing San Juanico Strait)
- h. Repair of Center portion of Ratings Dormitory



MANAGEMENT INFORMATION SYSTEM (MIS)

To support the government's effort on Information Technology (IT) adoption and to provide data requirements and needs of the agency, a Computer-based Management Information System (CBMIS) was established. Forty percent (40%) has been accomplished in terms of information systems analyses and design, partial completion of the construction of EDP Center cubicle, and acquisition of hardwares/software combined.

STAFF DEVELOPMENT

To ensure the stability and retention of personnel, the NMP provides opportunities, staff training development for both faculty and employees.

The Faculty Development Plan includes the following programs:

a. *Faculty Cross-Training Program*

This is an on-going program since the turn over of the JICA-donated buildings and equipments which requires all teaching personnel to take all relevant courses offered at NMP. A faculty member needs to be familiar with other courses outside of his area of responsibility to ensure immediate substitution in case of absence or inavailability of staff. This year, thirty-nine percent (39%) of the faculty members was issued certificates on the program covering seventeen NMP courses.

b. *Shipboard Rotation Program*

This program aims at enhancing the professional growth of the trainers by providing opportunities to upgrade their license and to develop their career in maritime education and training. A shipboard rotation scheme is developed for them to meet the required sea experience prior to their taking the licensure examination. The program may likewise improve their economic condition.

c. *Scholarship Training in Japan*

Under the Colombo Plan for Technical Scholarship yearly slots for the NMP counterpart personnel of the NMP-JICA Technical Cooperation Project are provided. In 1989, three (3) members of the training staff were sent to Japan under this program.

d. *Seminars, Conferences, Conventions, and other Programs*

All NMP personnel are given the chance to participate in seminars, conferences and other training programs (in-house) conducted by the NMP and other agencies. For in-house trainings, three hundred fifteen participants were issued certificates for the nine (9) trainings conducted. One hundred twelve (112) personnel were given certificates for the forty (40) outside trainings attended.

In addition to these agency sponsored training programs, the NMP personnel are encouraged to enroll in graduate and post-graduate courses.

Aside from the regular staff development programs offered to the personnel of the NMP, there are employee relations and productivity improvement programs that are developed for a more responsive, efficient and effective employee. Employee-relations programs include social interaction, value development sessions and sports festivals. Interaction with the trainees and personnel of the Department of Labor and Employment (DOLE) and its attached agencies is initiated.

GENERAL SERVICES

Behind all activities of the NMP is the work force from the General Services . They maintain the buildings, facilities and grounds of NMP, purchase supplies and materials and equipments and other related activities. For this year, fabrication of office furnitures and teaching aids was their priority reaching a total of 761 which was more than twice the accomplishments for 1988. The increase could be attributed by the hiring of new employees and the influx of trainees to NMP.

TRAINEES SERVICES

Aside from the concern of NMP towards its personnel, trainees welfare is also a priority area. Domiciliary services are offered to the trainees of NMP at a very minimal cost at the Ratings' Dormitory. Out of the 3,484 trainees registered during the year, 1,352 were billeted as there were only 89 rooms available for occupancy by the trainees. Fifteen (15) rooms were occupied by the faculty . Other services include the use of NMP transportation facilities by the trainees during arrivals, departures and excursions.

LIBRARY SERVICES

In support to the instructional programs of the NMP, a library is provided. To date, the over-all library holdings is four hundred eighty-two (482) titles in five hundred eighty-one (581) volumes. Technical books only constitute 22.72% of the total library holdings, one half (50.72%) is on other areas and the rest (26.33%) are general references.

PERSONNEL PROFILE

As of December 31,1989, the NMP has 171 employees. The personnel profile is shown below:

<u>Categories</u>	<u>Number</u>
A. Level of Position	
Career Service -	
First Level	67
Second Level	82
Third Level	2
Non-Career Service -	
Casual	20

B. Nature of Appointment

Permanent	136
Temporary	11
Casuals	20
Co-Terminus	3
Substitute	2

C. Age

30 and below	97
31 to 40 yrs	44
41 to 50 yrs	17
51 to 59 yrs	7
60 yrs and above	6

D. Educational Level

Elementary	5
Secondary	21
College	111
Masters	31
Doctoral	3

E. Sex

Male	103
Female	68

F. Number of Years in Government Service

Below 5 yrs.	118
5 - 10 yrs	29
11 - 15 yrs	13
16 - 20 yrs	1
21 - 30 yrs	9
31 - above	1

G. Distribution

Maritime Training	57
Plans, Research & Project. Dev.	18
Administration and Finance	74
NMP Liaison Office	13
Office of the Executive Director	9

PROSPECTS FOR 1990

With the full implementation of the Standards for Training, Certification and Watchkeeping (STCW) as stipulated in the 1978 Convention which took effect in the country in May 1989, the operational targets of the National Maritime Polytechnic have been increased.

For the conduct of Upgrading and Specialized Courses, a total of four thousand seventy (4,070) trainees is targeted to be certificated by the end of 1990. These courses include the Deck, Engine, Tanker and SOLAS Courses.

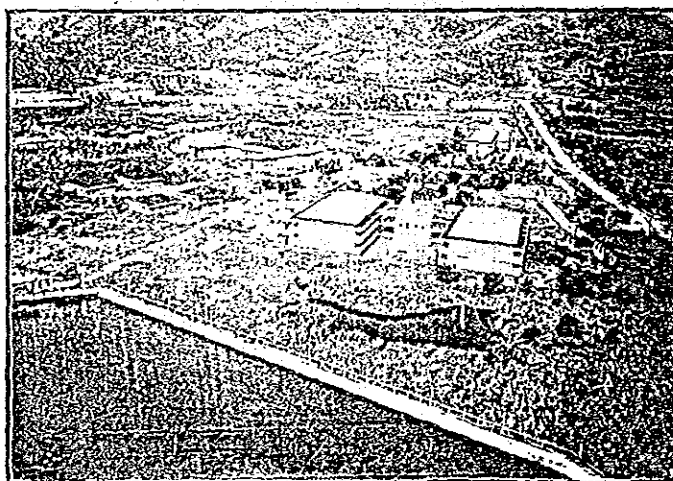
On researches, seven researches are scheduled to be completed by the end of the year.

As part of the on-going facility development activities of the NMP, ten (10) infrastructure projects are also to be completed. These projects are, however, dependent on budget releases allocated by the Department of Budget and Management (DBM) but these form part of the Commitment of the Philippine Government to the Japanese Government as per Records of Discussions of the NMP Training Center Project.

By 1990, NMP is envisioned to have adequate and complete computer-based information support with the maintenance of existing databases, information production, establishment of databases for other Management Information System (MIS) subsystems, information-quality monitoring and modifications through systems feedback collections and analyses.

As per minutes of Meetings for the Extension of the Technical Cooperation of the NMP Training Center Project, marketing and information activities shall be strengthened. With the assistance of the Overseas Workers Welfare Administration (OWWA) through their Scholarship Programs, more enrollees are expected to train at NMP.

It is also expected that the Faculty Development Program will be fully implemented as a commitment of the Philippine government to insure the stability and retention of services of the faculty members.



STATEMENT OF FINANCIAL
CONDITIONS

NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
Tacloban City

BALANCE SHEET

As of December 31, 1989

FUND 101

ASSETS		LIABILITIES	
CURRENT ASSETS		CURRENT LIABILITIES	
Cash	P 1,501,975.86	Payables	P 3,018,157.45
Receivables	P 78,934.32	Trust Liabilities	152,635.61
Inventories	P 950,759.47	Depository Liabilities	32,248.70
	P 2,531,669.65		P 3,203,041.76
OTHER ASSETS		OTHER LIABILITIES	
Guaranty Deposits	P 32,248.70	Miscellaneous Liabilities and Deferred Credits	P 951,194.75
CONTINGENT ASSETS			
Claims for Disallowed Payments Disallowances	P 421,449.35		
INVESTMENTS AND FIXED ASSETS		SURPLUS	
Investments		CURRENT SURPLUS	
Stocks and Bonds	P 15,200.00	Per Statement of Operations	P (893,590.15)
Fixed Assets		National Clearing Accounts	(636,624.25)
Land and Land Improvements	P 1,904,710.00	INVESTED SURPLUS	988,782,262.86
Building and Structures	P 449,960,475.40	CONTINGENT SURPLUS	351,345.59
In-Process	P 64,500.00		P 987,613,394.05
Furnitures, Fixtures and Equipment Work Animals	P 536,720,591.44		
Held in Trust	P 116,786.02		
	P 988,782,262.86		
TOTAL ASSETS)))))) P 991,767,630.56	TOTAL LIABILITIES AND SURPLUS :)))))) P 991,767,630.56

Certified Correct :

Margie C. Habitar
Mrs. MARGIE C. HABITAR
Accountant III

Republic of the Philippines
 Department of Labor and Employment
 NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
 Tacloban City

BALANCE SHEET
 As of December 31, 1989

FUND 102

A S S E T S

CURRENT ASSETS

Cash P 17,023,095.21
 Receivables 1,613,118.77

P 18,636,213.98

INVESTMENTS AND FIXED ASSETS

6,349,829.37

TOTAL ASSETS

P 24,986,043.35

LIABILITIES AND SURPLUS

CURRENT LIABILITIES

Payables P 13,573,921.39
 Trust Liabilities 652,546.86

P 14,226,468.25

CURRENT SURPLUS

Appropriations Allotted Expenditures Unexpended or Unobligated Allotments (Continuing Appropriations Subject to Special Budgeting/ Reprogramming) 23,664,815.91
 National Clearing Accounts 311.10
 Unreleased CDC (19,255,381.28)
 Invested Surplus-Fixed Assets 6,349,829.37

P 10,759,575.10

TOTAL LIABILITIES AND SURPLUS

P 24,986,043.35

Certified Correct :

M. Mabitad
 Mrs. MARGIE C. MABITAD
 Accountant III

Republic of the Philippines
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
Cabalawan, Tacloban City

DETAILS OF INCOME
As of December 1989

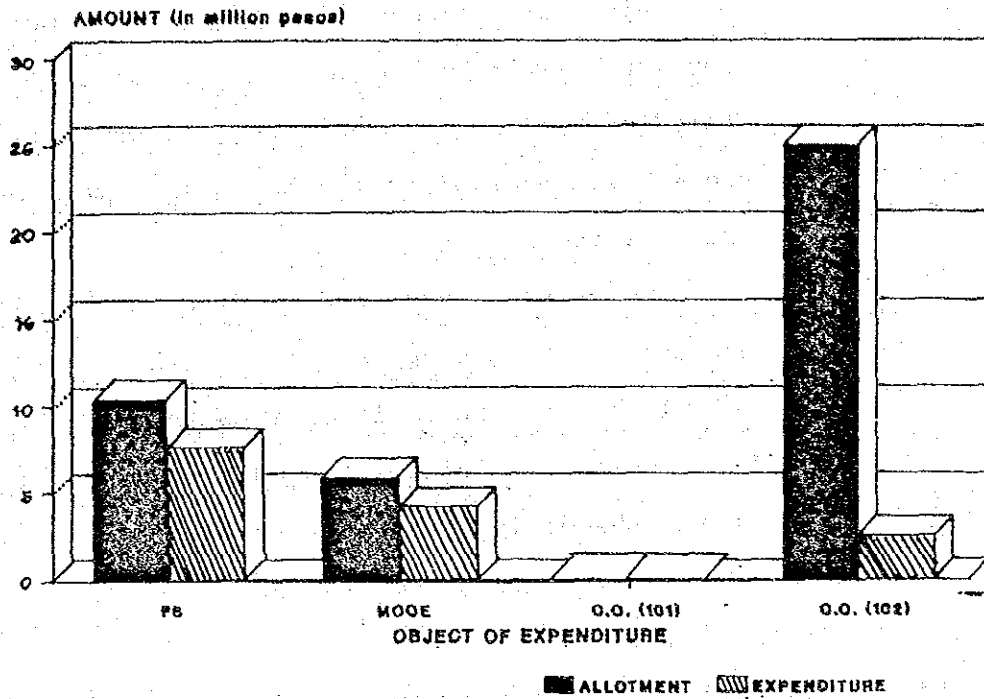
SOURCES		:	AMOUNT
1.	ENGINE COURSES	:	P 256,312.05
2.	DECK COURSES	:	471,389.25
3.	TANKER COURSES	:	169,878.40
4.	SOLAS COURSES	:	409,063.20
5.	NMP MLA-SUPERVISED TRAINING	:	250.00
6.	M/S FILIPINAS	:	10,826,500.00
7.	OTHER INCOME	:	10,004.41
T O T A L		:	P 12,143,397.31

Certified Correct :

Margie C. Mabitad

Mrs. MARGIE C. MABITAD
Accountant III

ALLOTMENT vs. EXPENDITURE
CY 1988



LEGEND :

- PS - Personal Services
- MOOE - Maintenance and Other Operating Expenses
- C.O. (101) - Capital Outlay (Fund 101)
- C.O. (102) - Capital Outlay (Fund 102)

2. NMP TODAY :

2-1 An Overview

The National Maritime Polytechnic was created in 1978 with the following objectives:

- a.) To train and update the country's maritime manpower resources through specialization and upgrading programs integrating values vital to social transformation for both licensed marine officers and ratings;
- b.) To conduct researches and studies on the latest maritime technologies and other related activities for the maritime industry; and
- c.) To provide administrative support services to ensure the delivery of quality maritime training and effective maritime studies

Strategic programs, projects and activities, taking note of changes and development in the maritime industry, have been developed and implemented, this year in view of the agency's mandate. Foremost is the improvement of strategies and operations of the Maritime Training Division, the core division of the agency, as primarily responsible for effecting the training and technology skills transfer to the trainees or seafarers. The two other main divisions, namely the Planning, Research, Project Development or PRPD and the Administration and Finance Divisions provide the vital technical and operational support services.

The NMP Training Center offers Deck and Engine upgrading courses together with Tanker Courses and Basic Safety (SOLAS) courses. Additional courses and modules are due to open before the year ends, upon the installation of new equipment/simulators from JICA and commencement of the training of NMP counterpart trainor by the designated JICA experts. These new courses/modules include radiotelephony/INMARSAT System, Inert Gas/Crude Oil Washing, and Safety in Ship Carrying Dangerous and Hazardous Goods. Global Positioning System (GPS) shall be integrated in the module, Electronic Navigation System in consonance with the IMO-STCW Convention of 1978. In addition, International Rules of the Road shall be incorporated in the module on Shiphandling and Maneuvering.

Table I below shows the total number of enrollees certificated from the year 1986 to August 1990. (See Appendix 1 for the number of trainees enrolled and certificated by module).

Table I. Total Number of Trainees Certificated 1986-1990

SECTIONS	YEAR					TOTAL
	1986	1987	1988	1989	1990	
Deck Courses	39	193	438	634	1,109	2,413
Engine Course	32	104	188	305	367	996
Specialized Courses	5	27	117	268	163	580
SOLAS Courses	1,062	1,048	1,074	2,227	1,887	7,298
T O T A L	1,138	1,372	1,817	3,434	3,526	11,287

Quality maritime training measured in terms of number of trainees certificated and overall welfare of trainees remain the primordial concern and the outcome of the agency. Thus, among the strategies and specific programs pursued this year include:

2-2 Faculty Development Program

As change agents of the agency in terms of transfer of knowledge, skills and appropriate technology, upliftment of the NMP Faculty is given due recognition. Likewise, the strategy is adopted to ensure loyalty and commitment of the teaching personnel. Specific programs include:

PROGRAMS	YEAR/NO. OF PARTICIPANTS
1.) Cross Training and Trainers Training	1988-90 - 97
2.) Shipboard Assignment	1988-90 - 12
3.) Shipboard Rotation Program	
4.) Attendance in Local and International Conferences/Seminars	1988-90 - 55
5.) Scholarship Training/Observation Tour in Japan (under the Colombo Plan Scholarship of the NMP-JICA Technical Cooperation Project)	1986-90 - 19
6.) In-house Staff Development Activities	1988-90 - 111

In terms of teaching personnel complement, the faculty has grown to a total of forty-eight (48), all of them holding plantilla teaching positions as of August 31, 1990. There are still six (6) unfilled teaching positions.

Below is the distribution of faculty members as to rank:

RANK	Deck	Engine	Specialized Courses	Maintenance	SOLAS	TOTAL
Professors	4	3	1	1	1	10
Asso. Prof.	3	2	2	2	0	9
Asst. Prof.	3	7	0	1	5	16
Instructors	3	1	2	2	5	13
TOTAL	13	13	5	6	11	48

There are however, four (4) employees holding faculty ranks (4 Professors/1 Associate Professor) but are not actually teaching. Rather they hold supervisory-administrative positions. (Refer to Appendix 17) .

2-3 Facility Development

Aimed at providing the trainees with comfortable facilities, and a better environment during their stay at NMF, identified priority infrastructure projects are currently under construction while some have been completed. This concretizes the commitment of the Philippines government's side under the NMP-JICA Modernization and Expansion program. Table 2 provides the data on status of infrastructure projects:

Table 2. Status of Infrastructure Projects

Project Title	Date Started	% Accomplishment*	Date of Completion
1.) Construction of Perimeter Fence	June 17, 1989	80.70 %	1990
2.) Concrete Pathways Construction and Installation of Lights and Cyclone wire	June 10, 1989	95.50 %	1990
3.) Construction of Road Network	June 27, 1989	96.37 %	1990
4.) Construction of Officers Dorm	June 25, 1989	21.35 %	Jan. 1991
5.) Repair of Ratings Dorm	Nov. 1988	100 %	May 1990
6.) Completion of Seawall	Dec. 1989	100 %	Feb 1990
7.) Construction of Embankment Along Concrete Pathways	Jan. 1990	100 %	Mar 1990
8.) Construction of Multi-Purpose Building	Aug. 6, 1990	9.28 %	Feb 1991
9.) Repair of School Buildings:			
a.) School Building #1 (Tank Cleaning Machine)	Aug. 29, 1990	67.09 %	Oct 1990
b.) School Building #2	Aug. 29, 1990	89.27 %	Oct 1990
c.) School Building #5 (Radio Telephony/INMARSAT)	Aug. 29, 1990	39.40 %	Oct 1990

Specifically, school buildings nos. 1 and 5 will house the new simulators and equipment for the additional (new) courses/modules. (Refer to Appendix 9).

2-4 Provision of Other Support Projects and activities are likewise given impetus this year in view of attaining a higher accomplishment in terms of the agency's objectives. This support services likewise will redound towards delivery of

* As of August 31, 1990

quality maritime training and a better served trainees or clientele. Pursuit of this thrust is made through:

1.) Intensified Information and Marketing Activities. increased awareness of NMP resulting to higher enrolment. The active implementation this year of NMP-OWWA Scholarship and Training Loan Program since it started off in 1989 contributed greatly to the increase of enrolment figures. Thus, the program is used as a marketing strategy with both parties-NMP and trainees benefited.

The OWWA-NMP Familiarization Tour which aimed at providing OWWA officials and heads/representatives of manning agencies/shipping companies on-site orientation and briefing on the course offerings and simulators and equipment available at the training center also boosted the enrolment figures. A total of 68 participants visited the complex in January 1990. Reproduction and distribution of a total of seventy-three (73) NMP-video documentary tapes to POEA registered shipping/manning agencies was also done. Figures on the OWWA scholars benefitted by the program since 1989 are given below:

Table 3. Total NMP-OWWA Scholars Certified

Sections	YEAR		TOTAL
	1989	1990*	
DECK	144	460	604
ENGINE	94	218	312
SPECIAL COURSES	61	31	92
TOTAL	299	709	1,008

* As of End of August

Establishment and operationalization of the agency's computer-based Management Information System gained momentum in the year since its inception in mid-1989. Essential and vital data and information needs of management responded to quickly is its utmost concern and contribution.

Production of informational print materials on the promotion of NMP courses and training like the brochure and leaflet have been completed in May and August. Currently on-going is the development of the Trainee's Information Handbook which aims at providing a concise information on the agency as a whole. Targetted completion of prototype is by end of November.

2.) Broadened areas of Research has been given attention this year, results and recommendations of which would provide as basis of future policies and decisions that would affect the operation of NMP.

Started off in 1989 and completed in the first quarter and early half of this year were the following studies/researches:

- 1.) Profile of NMP Trainees
- 2.) Survey on the Marketability of NMP Proposed New Courses (Phase I and 2)
- 3.) An Evaluation of the OWWA Familiarization Program
- 4.) Pre-Training Appraisal on the Perception of Trainees Towards NMP

An on-going study started in 1989 is the "Ideal Merchant Marine Officer": A Descriptive Study on the Perception of NMP Faculty and Trainees, results of which will serve as baseline information for the development and implementation of value orientation and development programs for Filipino seafarers.

A proposed survey entitled, "Survey on the Employability of the NMP Upgrading Course Graduates" had been revised to include also as respondents the manning agencies, and not solely the NMP trainees.

3.) Provision of Auxiliary Services such as free transportation and domiciliary services is part of NMP's concern. A nurse and a dentist were recruited and employed last March to deliver the basic medical/dental services to the trainees and employees alike. The clinic is temporarily located at the Ratings Dormitory pending the construction of a permanent infirmary building. The JICA-donated Coaster and other NMP vehicle are available for student's use upon request.

2-5 EXTENSION SERVICES

The National Maritime Polytechnic, in view of establishing external linkages to its environment, responds to the needs and requests of other agencies in the maritime industry, in terms of concrete projects and activities. These services, however, are limited based on NMP's financial, technical and manpower capabilities. Among the projects and activities are:

- a.) NMP-PAMI Familiarization Program

- b.) Maritime Trainers Training Program
- c.) Trainees Development Program
- d.) Joint NMP-NMYC-OWWA Training Program of which the preparation and finalization of the Memorandum of Agreement is on the drawing board stage.
- e.) Specialized training Program for training of shipping crews on specific non-mandatory course prior to embarkation as requested by shipping companies
- f.) Sends out Lecturers/Speakers during seminars, conferences, etc. as per requests and invitations such as:
 - IMO Course on Training for Teachers
 - Civil Service Commission's Programs such as Jet-Stream, Personnel Management, Training and Development Program
- g.) Support and participation in other government activities/community services
 - Conduct blood pressure taking operation during NMP's 12th Foundation Anniversary
 - Support to KABISIG Program implementation by DOLE

~~Ex- FINANCIAL STATEMENT (See attachment 18)~~

Strategies for Program Implementation (1990-1992)

To keep pace with the increasing trend in enrolment and the demands of the industry for skills-enhancement of the seafarers, the NMP will be adopting the following strategies to fully achieve its objectives:

- 1.) Continue offering the training courses by modules;
- 2.) Strengthened marketing and information activities through promotional or strategic marketing campaigns;
- 3.) Full implementation of the NMP Faculty Development Plan;
- 4.) Completion of unfinished infrastructures projects, and implementation of newly approved projects;
- 5.) Periodic monitoring of training activities with immediate attention to feedbacks received;
- 6.) Full implementation of the Maintenance Program for Maritime Training equipment and simulators;
- 7.) Maintain smooth implementation of NMP-OWWA Scholarship Plan;
- 8.) Strengthened linkages with the Maritime industry and line agencies of the government;
- 9.) Promote extension services program;
- 10.) Continue the regular consultations/meetings for closer and effective coordination;
- 11.) Tapping of sponsors for scholarships, donation of books and equipment;
- 12.) Continue information systems feedback collection and development for an effective computer-based management information system.

Preparation of New Modules:

In preparation for the opening of the new modules, as part of the extension program of the Technical Cooperation with Japan, the following activities are on-going:

A. Improvement of Course Syllabi and Materials

Course outlines and material requirements of the new courses have been prepared (See Appendix 5b). However, these are still subject to revision since activities especially for the hands-on exercises are dependent on the type and capability of the equipment to be installed and the extent of technical transfer between the NMP Faculty and the JICA Expert.

B. Repairs of Classroom Buildings

Three classroom buildings are undergoing repairs. The two buildings will house the equipment for the new modules:

Project	Target Date of Completion
Bldg.#1 (for Tank Cleaning Machine)	Oct 12, 1990
Bldg.#5 (Radio Telephony)	Oct 27, 1990
Bldg.#2 (Classroom)	Oct 12, 1990

C. Survey on the Marketability of New Modules

A survey was conducted by the NMP research staff

to determine the acceptability of the new modules to the maritime industry-NMP trainees, crewing officers and executives of manning agencies. Results revealed that three courses are highly acceptable namely: International Rules of the Road, Marine Electronics and Radio Telephony. Other courses such as Dangerous Goods, Crude Oil Washing and Inert Gas System may draw enrollees but such may not be able to compete with the first three mentioned.

D. Marketing Activities

With the assistance of JICA, a new brochure was printed. Incorporated in it are the new modules. These are scheduled to be distributed in January 1991 but information dissemination has been undertaken during the second quarter visitation to manning agencies.

E. Recruitment of New Faculty

Ten new members of the Faculty have been appointed this year (1990) to fill the gap created by the Shipboard rotation and other faculty turnover. These new faculty are undergoing cross-training.

PLANS AND PROGRAMS FOR 1991.

1. Continuance and Expansion of Upgrading and Specialized Course Offerings

As the core activity of the agency increased, figures in both enrollees and certificated trainees, will be given impetus. This is shown with the opening of additional courses which shall be highlighted in the coming year. Also, enrolment targets for the other upgrading and specialized courses have been increased: Below is the targetted number of trainees to be certificated by sections: (See attachment 2 for modular breakdown of targets)

SECTIONS	NO. OF TRAINEES TO BE CERTIFICATED
UPGRADING COURSES:	
Deck	960
Engine	751
Specialized	960
SOLAS COURSES	3,000
GRAND TOTAL	5,671

2. Full Support and Implementation of the Faculty Development Program

Geared towards ensuring the stability and retention of the faculty, this continuing activity shall become an institutionalized program of the agency

in the long years. Part of this program is the Shipboard Rotation Scheme, wherein faculty members are allowed to go onboard ships of their choice in order to upgrade their license. Thus, for 1991, the Shipboard Rotation Schedule of the faculty has been finalized, as shown in Appendix 10a.

3. Other Targetted Support Programs

A. Staff Development Program for Specialized Courses

This refers to the possibility of sending trainers under the Specialized courses for training in Japan particularly on disaster prevention and survival techniques. A request proposal shall be submitted to JICA on this request. Please refer to the attached proposal (Appendix 10b).

B. Special Training for Administrators

This non-technical training in Japan aimed at providing administration/management techniques and approaches to maritime institution administrators shall be pursued. The training is seen to guide policy and decision-making along administration of seafarers.

C. Equipment Maintenance Scheme

A proposal (See attachment 10c) shall be submitted to JICA to effect technical transfer in the maintenance of equipment through a short-term

Japanese expert.

D. Trainors Training Program

Started in 1990, this shall be a continuing program in 1991 which aims at enhancing the professional competence of the NMP faculty as well as the trainors of maritime institutions and training centers.

E. Attendance to local training and conduct of in-house training for skill development and enhancement.

F. Research Activities

As a support to training activities, research thrust shall be towards gaining results for improved curriculum and forecasts of trends in the maritime industry. Specific titles along thrust are:

- * Analysis of Faculty Workload
- * Study on the Supply and Demand of Filipino Seaman
- * Profile of Filipino Seaman
- * A Study on the Validity of the Theoretical and Practical Examination of NMP
- * An Analysis of Instructional Costs

G. Extension Services

The following activities shall be vigorously pursued and institutionalized beginning year 1991:

- a. Maritime Trainers Training
- b. PAMI-Familiarization Program
- c. Maritime Safety Symposium
- d. Extending of community services

H. Information and Marketing activities shall focus on:

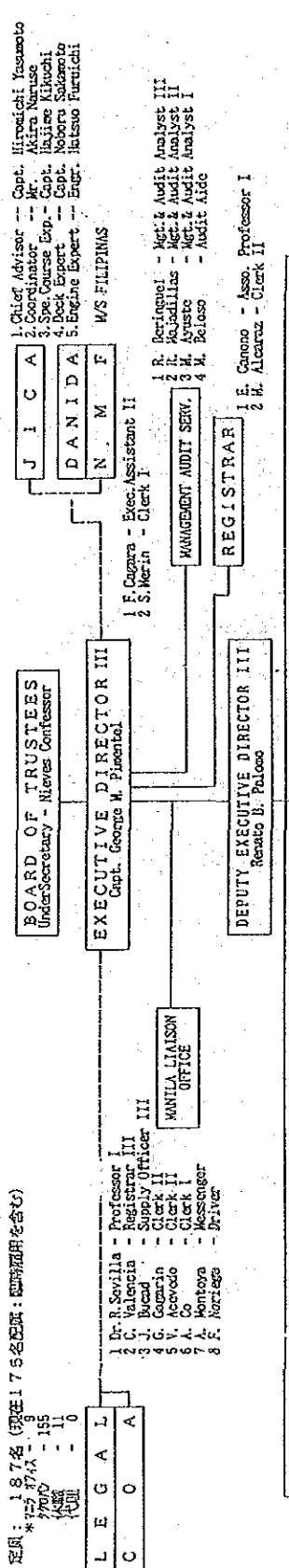
- development and improvement of database systems;
- installation of computer network system internal to NMP and with DOLE central office;
- print materials development, production and distribution;
- development and implementation of the communication plan for 1991
- strengthened public relations activities

I. Infrastructure Projects will be concentrated on:

- a. Site development to include rewrapping of pathways; development and maintenance of drainage systems and filling-up of depressed areas
- b. Completion of on-going infrastructure projects

J. Other activities to include curriculum evaluation to involve syllabi and faculty evaluation; library enhancement program; implementation of the Trainees Development Program and provision of administrative support.

定員: 187名 (現在) 175名 (定員) (臨時雇用を含む)
 7700 - 155
 1400 - 11
 1000 - 0



AS of Aug. 31, 1990

o SURVIVAL AT SEA (SAS)

- June 4 - 5 Oct. 8 - 9
- July 2 - 3 Oct. 30 - 31
- July 26 - 27 Nov. 22 - 23
- Aug. 20 - 21 Dec. 17 - 18
- Sept. 13 - 14

REQUIREMENTS FOR ENROLLMENT

UPGRADING COURSES

1. 3 pieces 1 x 1 latest photo
2. Xerox copy of PRC license.
3. Medical Certificate signed by a gov't. physician
4. Xerox copy of ROC Certificate for ROC revalidation
5. Xerox copy of RSC Certificate and valid ROC Certificate for RSC revalidation.
6. Xerox copy of Tanker Safety Course certificate for Tanker Operation Course
7. Xerox copy of ROC and RSC certificates for ARPA Module

SOLAS COURSES

1. 3 pieces 1 x 1 latest photo
2. Xerox copy of residence certificate
3. Barangay Clearance
4. Medical Certificate signed by a gov't. physician

¹ Global Positioning System integrated to this module upon installation of equipment and transfer of technology from JICA experts to counterpart trainees.

¹¹ International Rules of the Road integrated to this module for July, September and October batches subject to availability of equipment.

¹¹¹ Modules to be offered upon availability of equipment and transfer of technology from JICA experts to counterpart trainees.

COURSE FEES

DECK COURSES

Practice of Nav./Aids to Navigation P	513.00
Trip and Stability	714.00
Marine Meteorology	513.00
Safe Cargo Handling/Storage	539.00
Electronic Navigation Systems	926.00
Ship Handling/Maneuvering	1,362.00
Radar Observer's Course (ROC)	739.00
Radar Simulator Course (RSC)	886.00
Automatic Radar Plotting Aid (ARPA)	806.00

ENGINE COURSES

Electrotechnology P	661.00
Auxiliary Systems	681.00
Control Engineering	671.00
Marine Electricity	1,095.00
Hydromechanics	708.00
Modern Marine Propulsion System	1,327.53
Steam Plant/A-Stroke Diesel Propulsion	1,236.00
Refrigeration/Air Conditioning	590.00
Marine Electronics	under study

SPECIALIZED COURSES

Tanker Safety Course P	527.00
Tanker Operation Course	1,188.00
Safety in Ships Carrying Dangerous and Hazardous Cargoes other than Bulk	under study
Inert Gas System/Grude Oil Washing	under study
Radiotelephony/INMARSAT SYSTEM	under study

SOLAS COURSES

Maritime Leadership and Behavior Development P	949.05
First Aid at Sea	94.90
Fire Fighting	142.36
Proficiency in Survival Craft	284.70
Survival at Sea	218.30
	268.80

K.B. Class schedule and course fees are subject to change without prior notice.

Enrollees should be at WHP one day prior to start of classes. Registration is also open on Sundays.

TRAINING MASTER SCHEDULE FOR

1990



NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

DECK COURSES

o PRACTICES OF NAVIGATION & AIDS TO NAVIGATION (PN/AN)

o TRIM & STABILITY (T/S)

May 7 - 11 July 30 - Aug. 3
 June 4 - 8 Aug. 27 - Aug. 31
 July 2 - 6 Sept. 24 - Sept. 28

o MARINE METEOROLOGY (MN)

o SAFE CARGO HANDLING & STOWAGE (SCHS)

May 14 - 18 Aug. 6 - 10
 June 11 - 15 Sept. 3 - 7
 July 9 - 13 Oct. 1 - 5

o ELECTRONICS NAVIGATION SYSTEMS (ENS) **

o SHIP HANDLING & MANEUVERING (SM/N)

o RADAR OBSERVER'S COURSE (ROC)

May 14 - 25 Sept. 3 - 14
 June 11 - 22 Oct. 1 - 12
 July 9 - 20 Oct. 29 - Nov. 9
 Aug. 6 - 17

o RADAR SIMULATOR COURSE (RSC)

Regular
 May 28 - June 1 Sept. 17 - 21
 June 25 - 29 Oct. 15 - 19
 July 23 - 27 Nov. 12 - 16
 Aug. 20 - 24

Special

May 14 - 18 July 9 - 13
 June 11 - 15 Aug. 6 - 10

o AUTOMATIC RADAR PLOTTING AID (ARPA)

Regular
 June 4 - 8 Sept. 24 - 28
 July 2 - 6 Oct. 22 - 26
 July 30 - Aug. 3 Nov. 19 - 23
 Aug. 27 - 31

Special

May 21 - 25 July 16 - 20
 June 18 - 22 Aug. 13 - 17

ENGINE COURSES

o ELECTROTECHNOLOGY (ET)

o AUXILIARY SYSTEMS (AS)

o CONTROL ENGINEERING (CE)

May 20 - June 8 Aug. 20 - 31
 June 25 - July 5 Sept. 17 - 28
 July 23 - Aug. 9 Oct. 15 - 26

o MARINE ELECTRICITY (ME 1)

o HYDROMECHANICS (HM)

o MODERN MARINE PROPULSION SYSTEM (MPPS)

o REFRIGERATION & AIRCONDITIONING (RAC)

May 14 - 25 Sept. 3 - 14
 June 11 - 22 Oct. 1 - 12
 July 9 - 20 Oct. 29 - Nov. 9
 Aug. 6 - 17

o STEAM PLANT/4-STROKE DIESEL ENGINE (SP/4SE)

May 28 - June 8 Aug. 20 - 31
 June 25 - July 6 Sept. 17 - 28
 July 23 - Aug. 3 Oct. 15 - 26

o MARINE ELECTRONICS (ME 2) ***

July 9 - 20 Oct. 1 - 12
 Aug. 6 - 17 Oct. 29 - Nov. 9
 Sept. 3 - 14

o SAFETY IN SHIPS CARRYING DANGEROUS & HAZARDOUS

CARGOS OTHER THAN BULK (SSC/BCB)

July 16 - 18 Oct. 8 - 10
 Aug. 13 - 15 Nov. 5 - 7
 Sept. 10 - 12

o IREEL GAS SYSTEM/CRUDE OIL WASHING (IGS/COV) ***

July 2 - 6 Sept. 24 - 26
 July 30 - Aug. 3 Oct. 22 - 26
 Aug. 27 - 31

o RADIOTELEPHONY/IRRSARAI SYSTEM ***

July 2 - 13 Oct. 1 - 12
 Aug. 6 - 17 Nov. 5 - 16
 Sept. 3 - 14 Dec. 3 - 14

SOLAS COURSES

o MARITIME LEADERSHIP/BEHAVIOR DEVELOPMENT (MLBD)

May 21 - 22 Sept. 24 - 25
 June 18 - 19 Oct. 16 - 17
 July 12 - 13 Nov. 8 - 9
 Aug. 6 - 7 Dec. 3 - 4
 Aug. 30 - 31

o FIRST AID AT SEA (FAS)

May 23 - 24 Sept. 26 - 27
 June 20 - 21 Oct. 18 - 19
 July 16 - 17 Nov. 12 - 13
 Aug. 8 - 9 Dec. 5 - 6
 Sept. 3 - 4

o FIRE FIGHTING (FF)

May 25 - 30 Sept. 28 - Oct. 3
 June 22 - 27 Oct. 22 - 25
 July 18 - 23 Nov. 14 - 19
 Aug. 10 - 15 Dec. 7 - 12
 Sept. 5 - 10

o PROFICIENCY IN SURVIVAL CRAFT (PSC)

May 31 - June 1 Nov. 20 - 21
 June 28 - 29 Dec. 13 - 14
 July 24 - 25 Oct. 4 - 5
 Aug. 16 - 17 Oct. 26 - 29
 Sept. 11 - 12

SPECIALIZED COURSES

o THREE SAFETY COURSE (TSC)

May 7 - 11 Sept. 3 - 7
 June 11 - 15 Oct. 1 - 5
 July 9 - 13 Oct. 29 - Nov. 2
 August 6 - 10

o TANKER OPERATIONS COURSE (TOC)

May 21 - June 1 Sept. 10 - 21
 June 18 - 29 Oct. 8 - 19
 July 16 - 27 Nov. 5 - 16
 Aug. 13 - 24

JICA

88